



National Institute of Informatics

NII Technical Report

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
— 2005 年度(平成 17 年度)版 —

IV. 総合・新領域系および大型研究費編

Evaluation of Japanese Universities' Research
Activity Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research

— 2005 Fiscal Year —

IV. Interdisciplinary and New Area
& Large-scaled Project Funds

光田好孝、野村浩康、前田正史、前橋 至、
根岸正光、柴山盛生、西澤正己、孫 媛

Yoshitaka MITSUDA, Hiroyasu NOMURA, Masafumi MAEDA,
and Itaru MAEBASHI,

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA, Masaki NISHIZAWA,
and Yuan SUN

NII-2007-004J

Apr. 2007

科学研究費補助金採択研究課題数による
大学の研究活性度の調査研究
－2005 年度(平成 17 年度)版－
IV. 総合・新領域系および大型研究費編

光田好孝*, 野村浩康**, 前田正史*, 前橋至*
* 東京大学 ** 東京電機大学

根岸正光, 柴山盛生, 西澤正己, 孫 媛
国立情報学研究所

Evaluation of Japanese Universities' Research Activity
Based on the Number of Awards of
Grants-in-Aid for Scientific Research
－ 2005 Fiscal Year －

IV. Interdisciplinary and New Area & Large-scaled Project Funds

Yoshitaka MITSUDA*, Hiroyasu NOMURA**,
Masafumi MAEDA*, Itaru MAEBASHI*
* The University of Tokyo, ** Tokyo Denki University

Masamitsu NEGISHI, Morio SHIBAYAMA,
Masaki NISHIZAWA, Yuan SUN
National Institute of Informatics

Abstract

The system of *Grants-in-Aid for Scientific Research* from Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology of Japan is one of the oldest ones, which is the funding system for researchers belonging to universities and institutes in Japan. The fund was allotted to each researcher by peer review under the application for their own research projects.

This is the fourth report for 2005 fiscal year's version, on the research field of interdisciplinary and new area & large-scaled project funds. The large-scaled project funds involve the big project of Scientific Research on Priority Area, and the huge grants for Specially Promoted Area and for Creative Scientific Research. The total number of adoption subjects of research projects at 2005 has summed up for each university and institute both on individual research field of interdisciplinary and new area and on individual funds of large-scaled project funds, and compared them to those of 2004 which were reported previously.

目 次

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに	1
2. 調査研究に利用したデータベース	3
3. 2005 度（平成 17 度）の包括的な状況	3
4. 調査研究の具体的な分析方針	10

II. 個別研究費：総合・新領域系

1. 概要	11
2. 分野別	18
2－1 総合領域	18
2－2 複合新領域	30

III. 大型研究費編

1. 概要	39
2. 大型研究費の特徴	40
3. 研究種目別	42
3－1 特定領域研究	42
3－2 特別推進研究	45
3－3 学術創成研究費	46

I. 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究について

1. はじめに

文部科学省（文部省）科学研究費補助金制度は、1939 年（昭和 14 年）に始まった古くからのわが国最大の、国・公・私立大学、国立研究機関等に所属する研究者に対する個人申請とピアレビューによる国の研究費配分制度である。この科学研究費補助金の配分システムが、いろいろな批判はあるにせよ紆余曲折を経ながら、わが国の大学の基礎研究を支えてきたと言っても過言ではない。わが国の科学技術の振興を一層図るために、科学技術基本法が作られ、その一環として、いわゆる競争的研究資金である科学研究費補助金に予算が重点的に配分され、図 1－1 に示すように、毎年予算増が図られてきた。2006 年度（平成 18 年度）には、1,895 億円と 1992 年度（平成 4 年度）の約 3 倍に増加し、他の省庁の所轄を含めてわが国最大の競争的研究資金となっている。納税者に対する説明責任という観点からも、科学研究費補助金がどのように配分されているかを総合的に分析・調査することは重要である。

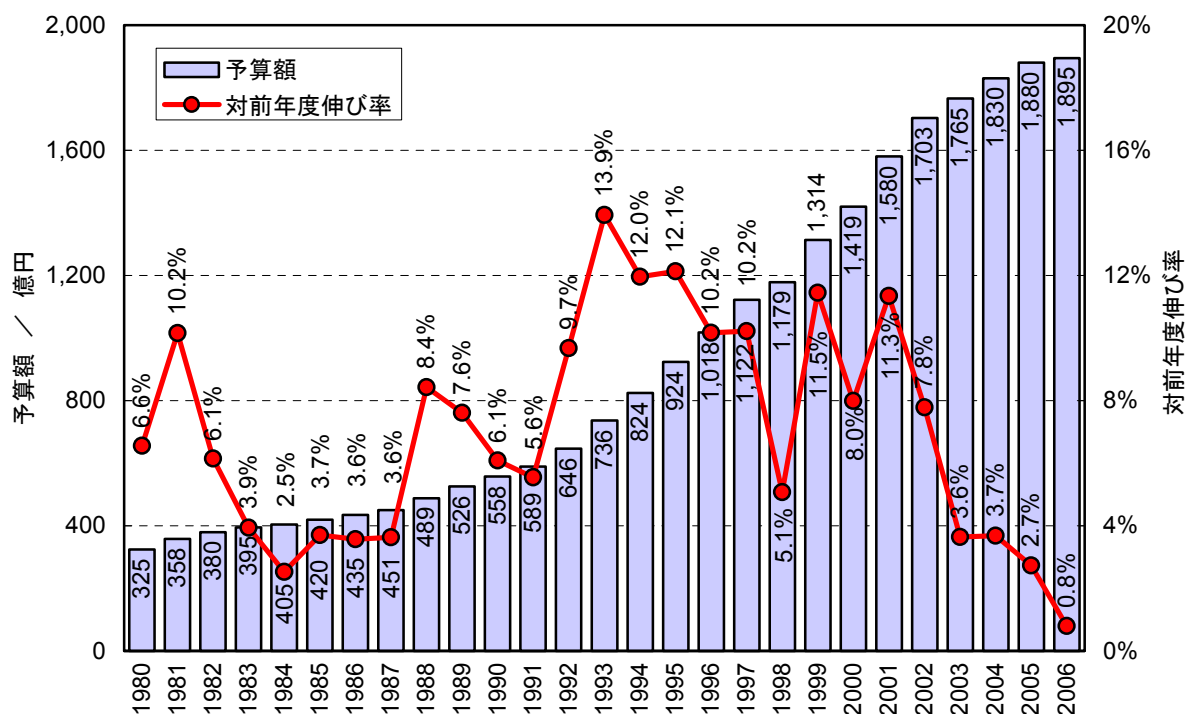


図 1－1 科学研究費補助金の予算額の推移

さらに、評価における観点として、科学研究費補助金の採択研究課題数等を個人および機関評価の資料として用いるときのデータの公開性の問題がある。公開され誰にでも入手できるデータに基づき、明示された方法により、評価・順位づけがなされなければならない。この種の資料の整理・公開が非常に遅れていることも、わが国の正確な評価システムの構築を妨げている一因である。この意味から

も科学研究費補助金の採択研究課題および金額は、毎年「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）に公表されており、現在では国立情報学研究所の web サイトにも公開され、条件さえ整えば誰でもが見ることができる。

科学研究費補助金のような公開データから採択研究課題数を大学別に整理することによりランキングを作成する場合、必ず大学の規模の問題が出てくる。科学研究費補助金採択研究課題数は、いわば英国における各大学の RAS（Research Active Staff）の数に対応するものと考えられる。国立大学の法人化により徐々に運営費交付金の削減が進行すれば、研究者への研究費について機関配分よりも競争的な個人配分の割合が増加するのは当然の流れである。科学研究費補助金制度は、国・公・私立大学の区別なく研究者個人が申請し研究費を獲得する制度である。採択研究課題数の多い大学は、活発に研究活動をしている教員、英国流に言えば RAS が多く所属していることになり、分野ごとの採択研究課題数の多寡は、各大学の研究活性分野の濃淡を表すことになる。とすれば、このような資料は、大学当局においても構成員の研究活性度を的確に把握するために欠くことのできないもの、大学ガバナンスの資料でもあるはずである。

この科学研究費補助金制度の根幹をなす仕組みのひとつが科学研究費補助金の「系・分野（部）・分科・細目表」（以下「細目表」という）である。この細目表は基盤研究等の研究種目に関し審査分野の区分を示す分類表である。ここで注意すべきことは、科学研究費補助金の「細目表」における細目構成が基本的にわが国の学部学科編成と似ていることから、科学研究費補助金の採択研究課題数と学部学科等の大学の組織の人数等を短絡的に比較しがちな点である。しかし、学部・学科・専攻が学問分野を中心に編成されているものの、研究者がその所属に関係なく実施しようとする研究計画の内容を考え適切な細目を自ら選んで研究費を申請できることが、科学研究費補助金の特徴である。

科学研究費補助金の「細目表」は不断に進展を続ける学問・研究の動向に合う適切なものでなければならない。科学研究費補助金の「細目表」については 1993 年度（平成 5 年度）に抜本的改正が行われ、以後 5 年ごとに見直されることが平成 5 年度募集要項に付記された。学術審議会科学研究費分科会（当時）に「分科細目改正検討委員会」が設置されたが、1998 年度（平成 10 年度）は小規模な改正に留められ、2003 年度（平成 15 年度）に大幅な改正が行われることとなった。

以上のことから、我々は、2003 年度の「細目表」の大改訂を考慮して、1998 年度（平成 10 年度）～2002 年度（平成 14 年度）の 5 年間の全ての分野にわたって科学研究費補助金採択研究課題を分析し、その結果からわが国の大学・研究機関の研究活性度を調べ、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2003-007J(2003)、NII-2004-001J～005J(2004)）として、web 上に公表した。また、その骨子は慧文社から「科学研究費補助金からみる全国大学総合ランキング ― 科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度の調査研究 ―」として出版した。

一方、2003 年度（平成 15 年度）の改正は、学術審議会答申「科学技術創造立国を目指す我が国の学術研究の総合的推進について」（1999 年（平成 11 年）6 月 29 日）に基づき、2000 年度（平成 12 年度）に学術審議会科学研究費分科会審査第一部会に「分科細目改正検討委員会」が設置され、「細目表」についての検討が続けられた。日本学術会議および 17 の関連学会等の修正・追加意見等を参考に、最終的に新たな「細目表」が決定された。この新しい「細目表」を用いて初めて申請された 2003 年度および 2004 年度の科学研究費補助金採択研究課題も分析し、国立情報学研究所の「NII テクニカルレポート」（NII-2005-002J、004J、006J～008J(2005) 、NII-2006-002J、003J、005J～007J(2006)）として、web 上に公表した。また、2003 年度、2004 年度の内容はトランスアートから「全国大学の研究活性度 ― 2003 年度科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 ―」、「全国大学の研究活性度 2004 ―

科学研究費補助金の採択研究課題数に関する調査 ー」として出版した。

本調査報告は、同様の調査研究の 2005 年度（平成 17 年度）版である。このような調査研究には連続性が必要であるので、2004 年度までの調査研究と同じ方針でデータの整理・分析を行う。2004 年度と同様に、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、特別研究員奨励費）と大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）とその他（特定奨励費、研究成果公開促進費、審査・評価・分析経費）にわけ、個別課題研究費、大型研究費について解析する。

2. 調査研究に利用したデータベース

科学研究費補助金の採択研究課題名等については、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」（ぎょうせい発行）として、毎年 10 月に公表・刊行されている。また、科学研究費補助金の採択研究課題名や成果概要等については、国立情報学研究所により「KAKEN（科学研究費補助金採択課題・成果概要公開データベース）」（URL：<http://seika.nii.ac.jp/>）としても公開されている。このように、科学研究費補助金については、公開されたデータが存在するため、採択研究課題数等を機関評価の資料として用いることが可能である。このことは、2005 年（平成 17 年）6 月にユネスコ・ヨーロッパ高等教育センターが呼びかけ開催された高等教育専門家会合において、大学ランキングの望ましい在り方を示した文書「高等教育機関のランキングに関するベルリン原則」にも謳われているデータの透明性にあたる。

本調査研究、特に個別課題研究費の分析には「KAKEN」に公開されているデータベースを用いている。また、予算額等の「KAKEN」から得られないデータについては「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値を用いた。なお、「KAKEN」には年度当初の採択研究課題に加え年度途中での追加採択研究課題も含まれているため、「文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧」に掲載されている数値と一致しない場合があることに注意されたい。

3. 2005 年度（平成 17 年度）の包括的な状況

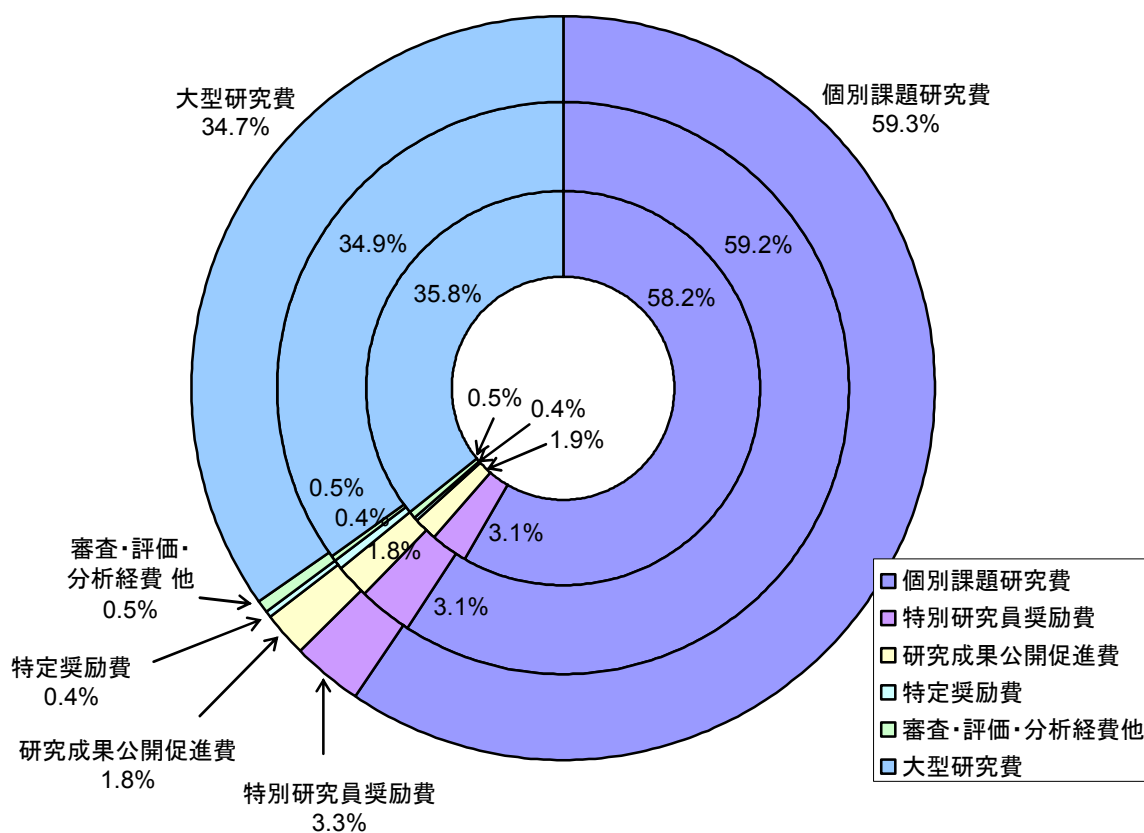
2005 年度の総予算額は、図 1－1 に示したように、50 億円増、2.7%増えて 1,880 億円である。緊縮財政状況の中では突出した伸びであるといえるが、伸び率が縮小してきていることがわかる。2003 年度から 2005 年度までの総予算額の項目別内訳について示したものが、表 1－1 である。これらの項目を、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）、個別課題研究費の一種である特別研究員奨励費、研究成果公開促進費、特定奨励費、大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）、および残りの項目を審査・評価・分析経費として、予算額の割合を図 1－2 の円グラフに示す。

2003、2004 年度に比べて、個別課題研究費が 59.3%に微増し、大型研究費が 34.7%に微減し、年々大型研究費から個別課題研究費に若干予算が移動していることがわかる。しかし、項目別予算の割合はほとんど変化していない。言い換えれば、全体的な枠組みは近年ほとんど変化しておらず、総予算額のみが増えてきているといえる。

表 1 - 1 科学研究費補助金の項目別予算額

金額単位/百万円

項 目		2003年度	2004年度	2005年度
1 科学研究費	(1) 特別推進研究	12,980	13,400	13,600
	(2) 特定領域研究	40,291	40,291	40,291
	(3) 基盤研究(S)	7,880	9,310	10,600
	(4) 基盤研究(A)	20,640	20,640	20,640
	(5) 基盤研究(B)	34,110	34,110	34,110
	(6) 基盤研究(C)	19,870	19,870	19,870
	(7) 萌芽研究	4,600	5,250	5,250
	(8) 若手研究(A)	4,030	5,440	5,900
	(9) 若手研究(B)	11,410	13,110	14,600
	(10) 奨励研究	200	600	600
	(11) 特別研究促進費	1,150	250	250
	小 計	157,161	162,271	165,711
2 研究成果公開促進費	(1) 学術定期刊行物	884	884	884
	(2) 学術図書	685	685	685
	(3) データベース	1,416	1,416	1,416
	(4) 研究成果公開發表	397	397	397
	小 計	3,382	3,382	3,382
3 特定奨励費		770	770	770
4 特別研究員奨励費		5,490	5,710	6,170
5 学術創成研究費		8,780	9,950	11,050
6 審査・評価・分析経費		917	917	917
合 計		176,500	183,000	188,000

図 1 - 2 2003 年度(内周)、2004 年度(中間周)、2005 年度(外周)の
科学研究費補助金の項目別予算の割合

まず、個別課題研究費について、2005 年度の採択研究課題数を「分野」別に眺めてみる。採択研究課題数に着目し、個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究、および特別研究員奨励費）の分析に用いた「分野」別および研究種目別の採択研究課題数と配分額を表 1－2 に示す。

特別研究員奨励費を除いた個別課題研究費（基盤研究、萌芽研究、若手研究）の 2005 年度の「分野」別の採択研究課題数の割合を図 1－3 に示す。2004 年度と比較すると、総予算額の増加に伴い全体の採択研究課題数が約 4.5%増え、「系」別の伸びが総合・新領域系で 11.3%、人文社会系で 6.4%増えているのに対して、理工系で 1.8%、生物系で 2.8%しか伸びておらず、その伸び方には差があることがわかる。

次に、2005 年度の採択研究課題数を機関別に眺めてみる。2005 年度の特別研究員奨励費を除く研究種目全体の機関別採択研究課題数を表 1－3 に、その棒グラフを図 1－4 に示す。1 位の東京大学をはじめとして、上位を旧帝国大学が占め、広島大学等の旧文理大学が続くことがわかる。また、医学部を持つ大学が上位に現れやすい傾向が見てとれる。このように、採択研究課題全体では各機関の研究分野の特徴が表れにくく、大規模の国立大学が上位にあるように見える。

表 1－2 個別課題研究費の分野別研究種目別の採択研究課題数と配分額（2005 年度）

金額単位/百万円

分野 研究種目		総合 領域	複合 新領域	人文学	社会 科学	数物系 科学	化学	工学	生物学	農学	医歯 薬学	時限 付き	研究 種目別 合計
基盤 研究 (S)	件数	29	28	11	7	37	24	76	25	22	57	－	316
	配分額	497	590	171	82	577	436	1,379	452	351	1,083	－	5,619
基盤 研究 (A)	件数	182	191	148	161	198	83	334	93	137	244	－	1,771
	配分額	1,853	1,900	1,082	1,265	1,792	989	3,620	909	1,332	2,608	－	17,349
基盤 研究 (B)	件数	878	520	534	734	613	335	1,340	322	709	1,785	－	7,770
	配分額	3,749	2,285	1,799	2,518	2,538	1,714	6,321	1,584	3,103	8,708	－	34,319
基盤 研究 (C)	件数	1,711	569	1,508	1,770	1,250	441	1,798	468	736	5,266	283	15,800
	配分額	2,230	767	1,459	1,821	1,458	656	2,530	702	1,027	7,537	408	20,596
萌芽 研究	件数	534	284	174	260	248	203	627	165	318	1,359	－	4,172
	配分額	757	421	177	286	312	331	966	262	482	2,078	－	6,070
若手 研究 (A)	件数	92	61	7	15	58	57	153	42	32	109	－	626
	配分額	600	423	14	54	449	440	1,160	362	231	807	－	4,538
若手 研究 (B)	件数	1,422	469	589	1,217	871	439	1,572	439	575	3,343	－	10,936
	配分額	1,846	651	546	1,202	1,085	693	2,213	692	826	4,828	－	14,582
分野 別 合計	件数	4,848	2,122	2,971	4,164	3,275	1,582	5,900	1,554	2,529	12,163	283	41,391
	配分額	11,532	7,035	5,248	7,227	8,211	5,259	18,188	4,963	7,352	27,649	408	103,072
特別 研究 員奨 励費	件数	5,575											5,575
	配分額	5,394											5,394

* 特別研究員奨励費に関してのみ、平成 17 年度文部科学省科学研究費補助金採択課題・公募審査要覧よりデータを採用した。

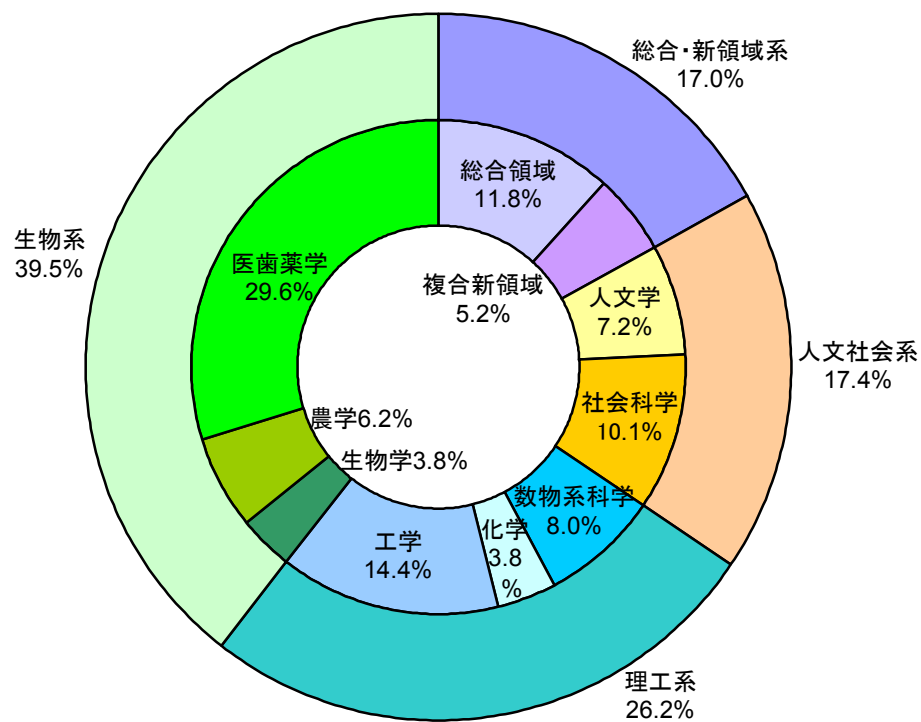


図 1－3 2005 年度科学研究費補助金の「系」別(外周)および
「分野」別(内周)採択研究課題数の割合

表 1－3 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位（2005 年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度	
			件数	金額
1	国	東京大学	2,840	17,995,755
2	国	京都大学	2,228	11,740,300
3	国	東北大学	1,723	8,449,900
4	国	大阪大学	1,676	8,108,600
5	国	九州大学	1,382	5,260,200
6	国	北海道大学	1,341	5,136,821
7	国	名古屋大学	1,242	5,818,900
8	国	筑波大学	877	2,841,400
9	国	広島大学	853	2,213,431
10	国	東京工業大学	782	4,074,100
11	国	神戸大学	750	2,319,232
12	国	岡山大学	617	1,746,429
13	私	慶應義塾大学	597	2,251,300
14	国	千葉大学	583	1,728,200
15	私	早稲田大学	518	1,604,500
16	国	新潟大学	494	1,181,900
17	他	理化学研究所	490	2,379,800
18	国	金沢大学	456	1,299,500
19	国	徳島大学	402	1,112,100
20	国	熊本大学	401	1,396,000
20	国	長崎大学	401	974,000
22	国	東京医科歯科大学	384	1,635,000
23	私	日本大学	348	577,400
24	公	大阪市立大学	340	1,177,800
25	国	信州大学	338	684,400
26	国	山口大学	334	676,817
27	公	首都大学東京	321	948,000
28	国	鹿児島大学	319	618,700
29	国	群馬大学	313	878,100
30	国	岐阜大学	279	773,600
31	公	大阪府立大学	278	679,000
32	国	愛媛大学	275	783,800
33	国	山形大学	249	492,500
34	国	静岡大学	248	622,600
35	私	東海大学	228	476,200
36	国	鳥取大学	223	454,900
37	国	三重大学	220	504,900
38	国	横浜国立大学	218	709,100
39	国	福井大学	214	461,900
40	他	産業技術総合研究所	211	862,500
40	私	立命館大学	211	467,200
42	公	名古屋市立大学	209	524,200
43	国	琉球大学	204	383,200
44	国	東京農工大学	193	822,500
45	国	佐賀大学	191	354,572
46	私	北里大学	189	437,400
47	国	宮崎大学	188	388,600
48	国	弘前大学	183	351,600
49	国	島根大学	176	321,900
50	国	埼玉大学	175	351,700
合計			45,531	150,895,540

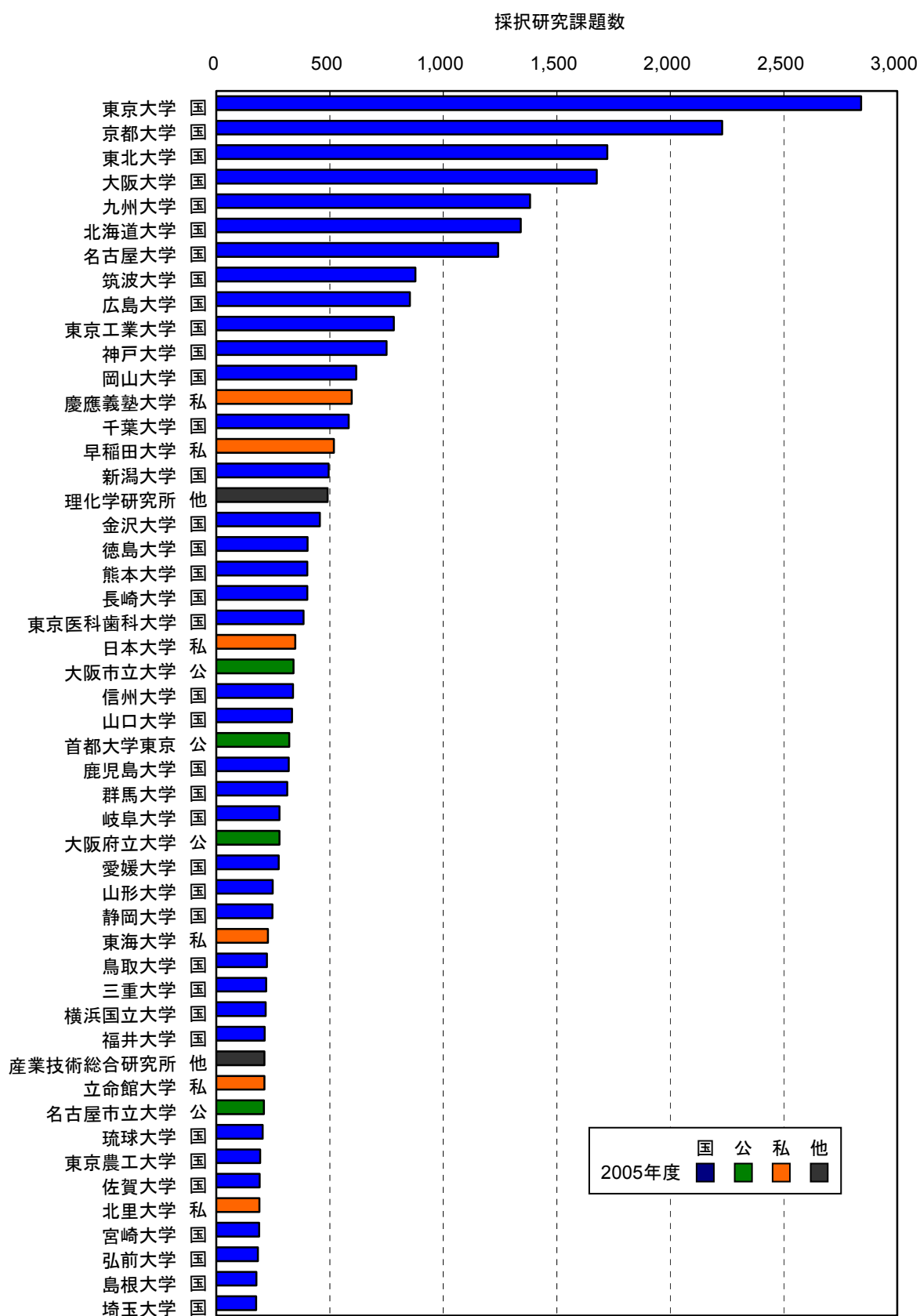


図 1 - 4 特別研究員奨励費を除く研究種目全体 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

4. 調査研究の具体的な分析方針

特別研究員奨励費を除く個別課題研究費では、科学研究費補助金採択研究課題数による大学の研究活性度を、科学研究費補助金申請および採択に用いられた新「細目表」にしたがって整理した。基本的には前回の 2004 年度の分析方針と同じである。経時変化がわかるように、2004 年度の機関別採択研究課題数を併記することとした。ただし、2004 年度の途中から 2005 年度の研究課題の採択までの間に、大学の合併や名称変更などが行われている。2004 年度の採択研究課題数を表記する場合には、この点を考慮して、2005 年 4 月 1 日現在における大学等の合併や改廃を考慮した合算を行うなどの補正をしている。また、独立行政法人の改編に伴い申請時の機関名の記述が変更になったものもあり、比較の難しいものもある。補正内容の詳細については個々に記さないで、注意されたい。

これらの研究種目については次の方法で分析する。

- (1) 各「系」について、2005 年度の科学研究費補助金の採択研究課題数の総数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (2) 各「分野」について、採択研究課題数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (3) 「分科」については、文学、法学、経済学、薬学等学部に相当するものもある。基本的には、各「分科」について採択研究課題数による機関別順位を上位 30 位まで整理する。ただし、採択研究課題数が 1 件以下の場合は省略し、2 件までの順位とする。
- (4) 各「細目」については、調査件数が少ないことから、2005 年度の単年度の分析の対象にはしなかった。この点については、現在の「細目表」が用いられる 5 年間の採択研究課題数の動向をいずれ見るときに改めて分析対象としたい。しかし、新「細目表」に改訂されて 3 年が経過し統計的に有意な調査件数となったため、テクニカルレポートを web 公開した後に、3 年間合計の「細目」別の解析を改めて検討し別の機会に発表することとしたい。

一方、特別研究員奨励費については、「KAKEN」に公開されているデータベース上では、基本的に 2003 年度に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では旧「細目表」が主に用いられ、2003 年度に追加採用および 2004 年度以降に新規採用された特別研究員からの申請による研究課題では新「細目表」が用いられている。特別研究員が 2 年もしくは 3 年任期であることから、特別研究員奨励費の採択研究課題では、旧「細目表」により分類される研究課題と新「細目表」により分類される研究課題が混在している。

したがって、特別研究員奨励費については次の方法で分析する。

- (1) 特別研究員奨励費全体の採択研究課題の総数（新・旧「細目表」すべてを含む）による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (2) 研究コードが混在しているため、旧「細目表」の「部」と新「細目表」の「分野」を、文系（部：文学、法学、経済学／分野：人文学、社会科学）、理工系（部：理学、工学、農学／分野：数物系科学、化学、工学、生物学、農学）、医系（部：医学／分野：医歯薬学）、融合系（部：複合領域／分野：総合領域、複合新領域）の 4 つに統合する。この 4 つの「研究領域」について、採択研究課題数による機関別順位を上位 50 位まで整理する。
- (3) 各「部」および各「分野」についても、採択研究課題数による機関別順位を上位 30 位まで整理する。ただし、採択研究課題数が 1 件以下の場合は省略し、2 件までの順位とする。なお、これらについては、「細目表」の変更をまたいでいるため個別の機関別順位には本質的な意味がないことに注意が必要である。

Ⅱ．個別課題研究費編：総合・新領域系

1 概要

2005 年度の採択結果に前年度の機関別採択研究課題数を併記し、経時変化による採択動向をみるととする。「総合・新領域系」全体での機関別採択研究課題数を表 2－1 に、その棒グラフを図 2－1 に示す。表から明らかなように、総合・新領域系全体としては、採択研究課題数の多い「分科」は理工学を主とする研究分野が多いため、機関別順位には理工系と同様の傾向が見えている。2004 年度と比較すると、全体として採択研究課題数が 11%強増えていることがわかる。比較的伸びの大きかった人文社会系と比較しても、総合・新領域系の伸びは圧倒的に大きい。東京大学を含め旧帝国大学の優位は変わらないが、4 位の東北大学が採択研究課題数を大幅に伸ばしている。その他、名古屋大学、産業技術総合研究所、岐阜大学、横浜国立大学、日本大学、お茶の水女子大学などが、2004 年度と比較して、採択研究課題数を前年比 20%以上伸ばしている。

この総合・新領域系を「分野」別にわけてみると、図 2－2 に示すように、採択研究課題数の割合は分野：総合領域で 69.6%、分野：複合新領域で 30.4%であり、「分野」別の割合は 2004 年度とほとんど変化していない。「分野」別に採択研究課題数を 2004 年度と比較すると、分野：総合領域の伸びが約 10%、分野：複合新領域の伸びが約 13%であり、どちらも他の「分野」の伸びよりかなり大きい。

表 2-1 総合・新領域系 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度
			件数	金額	件数
1	国	東京大学	358	1,925,900	304
2	国	京都大学	280	1,032,600	254
3	国	大阪大学	230	833,400	217
4	国	東北大学	217	738,600	170
5	国	筑波大学	210	565,300	186
6	国	北海道大学	175	565,900	150
7	国	東京工業大学	153	484,700	156
8	国	九州大学	142	428,800	119
9	国	名古屋大学	141	404,000	117
10	国	広島大学	107	242,700	104
11	私	早稲田大学	104	303,900	92
12	私	慶應義塾大学	88	273,600	84
13	国	神戸大学	87	257,300	73
14	他	理化学研究所	82	227,000	76
15	国	千葉大学	71	175,900	65
16	国	電気通信大学	65	116,100	60
17	国	静岡大学	64	178,900	55
18	国	奈良先端科学技術大学院大学	63	203,000	54
19	他	産業技術総合研究所	61	247,200	45
19	国	金沢大学	61	212,600	63
21	国	信州大学	58	138,100	59
22	公	首都大学東京	56	145,600	57
22	国	北陸先端科学技術大学院大学	56	143,600	51
24	国	九州工業大学	53	100,100	50
25	国	鹿児島大学	52	108,900	47
26	公	大阪府立大学	50	134,800	43
27	国	岡山大学	48	148,700	53
28	国	徳島大学	46	92,600	46
29	国	岐阜大学	45	99,300	37
30	他	国立情報学研究所	43	158,100	38
30	国	群馬大学	43	91,300	45
32	国	東京医科歯科大学	42	129,200	37
32	国	横浜国立大学	42	129,100	31
32	私	東海大学	42	72,500	38
35	国	新潟大学	41	145,700	40
35	国	熊本大学	41	112,000	35
35	国	東京農工大学	41	86,900	40
38	私	立命館大学	40	92,800	37
39	公	大阪市立大学	39	85,400	37
40	国	山口大学	38	86,000	33
40	国	長崎大学	38	63,500	47
42	国	愛媛大学	37	85,500	35
43	私	日本大学	35	57,700	27
44	国	名古屋工業大学	34	62,900	35
45	国	お茶の水女子大学	32	94,200	19
46	他	東京都医学研究機構	31	75,500	29
46	公	広島市立大学	31	41,200	32
48	国	豊橋技術科学大学	30	91,300	23
49	国	三重大学	29	66,200	28
49	国	富山大学	29	65,800	22
49	国	埼玉大学	29	65,500	22
49	私	北里大学	29	38,700	23
合計			6,970	18,566,959	6,263

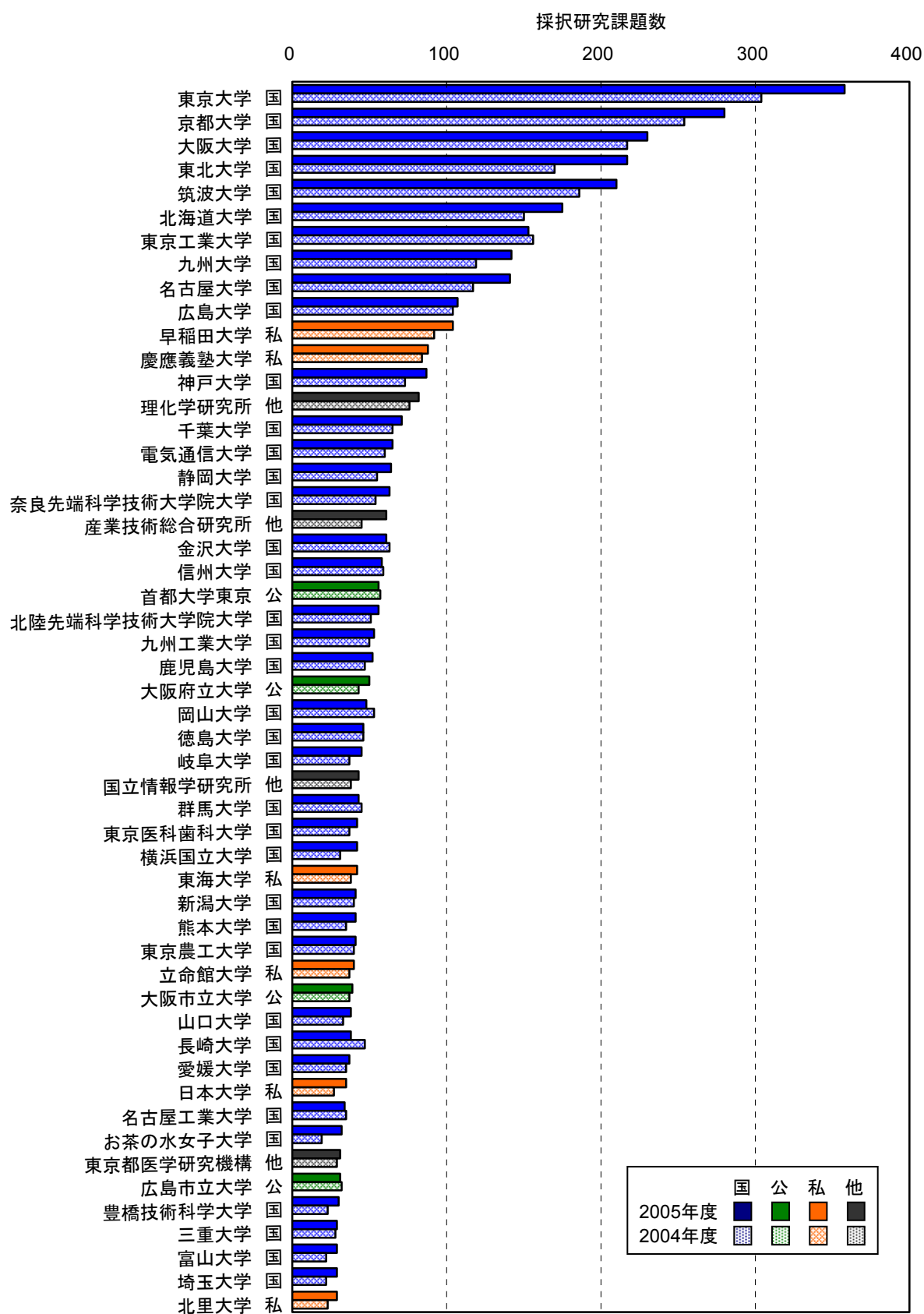


図 2 - 1 総合・新領域系 採択研究課題数上位 50 位（2005 年度）

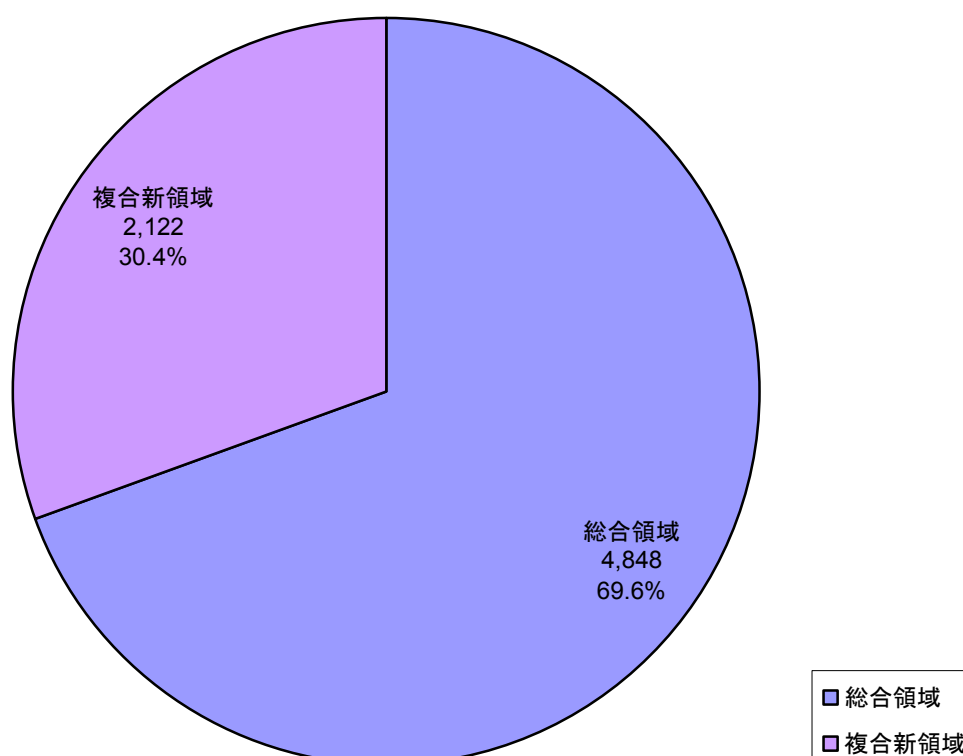


図 2－2 2005 年度の総合・新領域系「分野」別採択研究課題数

「総合・新領域系」の各「分野」の採択研究課題数を機関別に整理したものの上位 50 位を表 2－2 に、棒グラフを図 2－3～2－4 にそれぞれ示す。分野：総合領域、複合新領域ともに 2004 年度までの傾向とほぼ同じであるが、個々の分野の特徴も現れている。

分野：総合領域では、旧帝国大学と東京工業大学が上位を占めているが、それらの間に、筑波大学が割って入る。奈良先端科学技術大学院大学や北陸先端科学技術大学院大学のような大学院大学、理化学研究所や国立情報学研究所のような研究機関が比較的上位に顔を出すのも特徴である。2004 年度と比較すると、筑波大学が採択研究課題数を伸ばし 2 位に返り咲いている。同様に、採択研究課題数を伸ばして、名古屋大学が 7 位に順位を上げている。

分野：複合新領域でも、旧帝国大学と東京工業大学が上位を占め、その間に筑波大学が顔を覗かせている。2004 年度と比較すると、東京大学が大幅に採択研究課題数を伸ばし 1 位に返り咲いている。東京大学以外にも、東北大学、産業技術総合研究所、神戸大学、横浜国立大学、岐阜大学、物質・材料研究機構、日本原子力研究所などが採択研究課題数を 30%以上伸ばしている。

表2-2 総合・新領域系「分野」別採択研究課題数上位50位(2005年度)

金額単位/千円

総合領域						複合新領域					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	208	985,900	185	1	国	東京大学	150	940,000	119
2	国	筑波大学	171	471,600	143	2	国	京都大学	139	588,700	130
3	国	大阪大学	154	516,700	146	3	国	東北大学	93	367,100	68
4	国	京都大学	141	443,900	124	4	国	北海道大学	83	267,700	70
5	国	東北大学	124	371,500	102	5	国	大阪大学	76	316,700	71
6	国	九州大学	105	295,500	89	6	国	東京工業大学	60	216,900	64
7	国	名古屋大学	96	226,500	76	7	国	名古屋大学	45	177,500	41
8	国	東京工業大学	93	267,800	92	8	国	筑波大学	39	93,700	43
9	国	北海道大学	92	298,200	80	9	国	九州大学	37	133,300	30
10	私	早稲田大学	86	230,300	76	10	国	広島大学	36	101,800	38
11	国	広島大学	71	140,900	66	11	他	産業技術総合研究所	27	142,900	16
12	私	慶應義塾大学	67	183,000	59	11	国	千葉大学	27	99,900	27
13	国	神戸大学	62	166,000	55	11	公	大阪府立大学	27	83,900	24
14	国	奈良先端科学技術大学院大学	57	155,100	47	14	他	理化学研究所	26	89,400	28
15	他	理化学研究所	56	137,600	48	15	国	神戸大学	25	91,300	18
16	国	電気通信大学	53	90,900	51	16	他	国立環境研究所	24	70,300	25
17	国	北陸先端科学技術大学院大学	47	113,000	43	17	国	金沢大学	23	77,600	24
17	国	九州工業大学	47	85,500	44	18	国	愛媛大学	22	65,300	19
17	国	信州大学	47	84,900	47	19	私	慶應義塾大学	21	90,600	25
20	国	静岡大学	45	113,500	37	20	国	横浜国立大学	20	58,400	13
21	国	千葉大学	44	76,000	38	20	国	東京農工大学	20	54,800	22
22	他	国立情報学研究所	42	155,700	38	22	国	静岡大学	19	65,400	18
23	国	金沢大学	38	135,000	39	22	国	岐阜大学	19	57,200	14
23	国	東京医科歯科大学	38	122,100	35	22	国	熊本大学	19	46,700	16
23	公	首都大学東京	38	92,600	39	25	私	早稲田大学	18	73,600	16
23	国	群馬大学	38	84,100	39	25	公	首都大学東京	18	53,000	18
27	国	徳島大学	36	64,400	37	27	国	鹿児島大学	17	25,600	17
28	国	鹿児島大学	35	83,300	30	28	他	物質・材料研究機構	16	48,700	12
29	他	産業技術総合研究所	34	104,300	29	29	国	岡山大学	15	69,600	19
30	国	岡山大学	33	79,100	34	30	他	国立極地研究所	13	55,600	16
31	国	山口大学	32	59,000	28	30	私	東京理科大学	13	36,500	11
32	私	東海大学	31	48,600	29	30	他	日本原子力研究所	13	33,300	5
33	国	新潟大学	30	104,700	31	30	国	長崎大学	13	27,100	20
33	他	東京都医学研究機構	30	74,000	29	30	私	日本大学	13	21,700	11
35	公	大阪市立大学	29	54,500	28	35	国	琉球大学	12	41,600	9
36	他	メディア教育開発センター	28	99,900	21	35	国	電気通信大学	12	25,200	9
36	私	立命館大学	28	70,400	25	35	私	立命館大学	12	22,400	12
38	他	生理学研究所	27	129,300	30	38	国	信州大学	11	53,200	12
39	国	和歌山大学	26	49,000	28	38	国	埼玉大学	11	41,700	10
39	国	岐阜大学	26	42,100	23	38	国	新潟大学	11	41,000	9
39	公	広島市立大学	26	33,700	27	38	国	三重大学	11	31,900	8
42	国	お茶の水女子大学	25	63,200	16	38	私	東海大学	11	23,900	9
42	国	長崎大学	25	36,400	27	38	国	山形大学	11	23,500	7
44	他	統計数理研究所	24	59,800	24	38	国	名古屋工業大学	11	15,100	11
44	国	福井大学	24	28,400	17	45	国	東京外国語大学	10	31,000	7
46	公	大阪府立大学	23	50,900	19	45	公	大阪市立大学	10	30,900	9
46	国	名古屋工業大学	23	47,800	24	45	国	徳島大学	10	28,200	9
48	国	横浜国立大学	22	70,700	18	45	他	総合地球環境学研究所	10	22,900	6
48	国	熊本大学	22	65,300	19	45	公	静岡県立大学	10	21,300	12
48	私	日本大学	22	36,000	16	50	国	茨城大学	9	39,600	7
48	私	東京電機大学	22	33,900	23	50	国	豊橋技術科学大学	9	38,800	6
48	私	北里大学	22	28,200	18	50	国	北陸先端科学技術大学院大学	9	30,600	8
						50	国	一橋大学	9	27,000	8
						50	他	分子科学研究所	9	26,800	7
						50	国	富山大学	9	25,400	6
						50	国	東京海洋大学	9	24,600	8
						50	私	中央大学	9	17,200	5
合計			4,848	11,531,859	4,393	合計			2,122	7,035,100	1,870

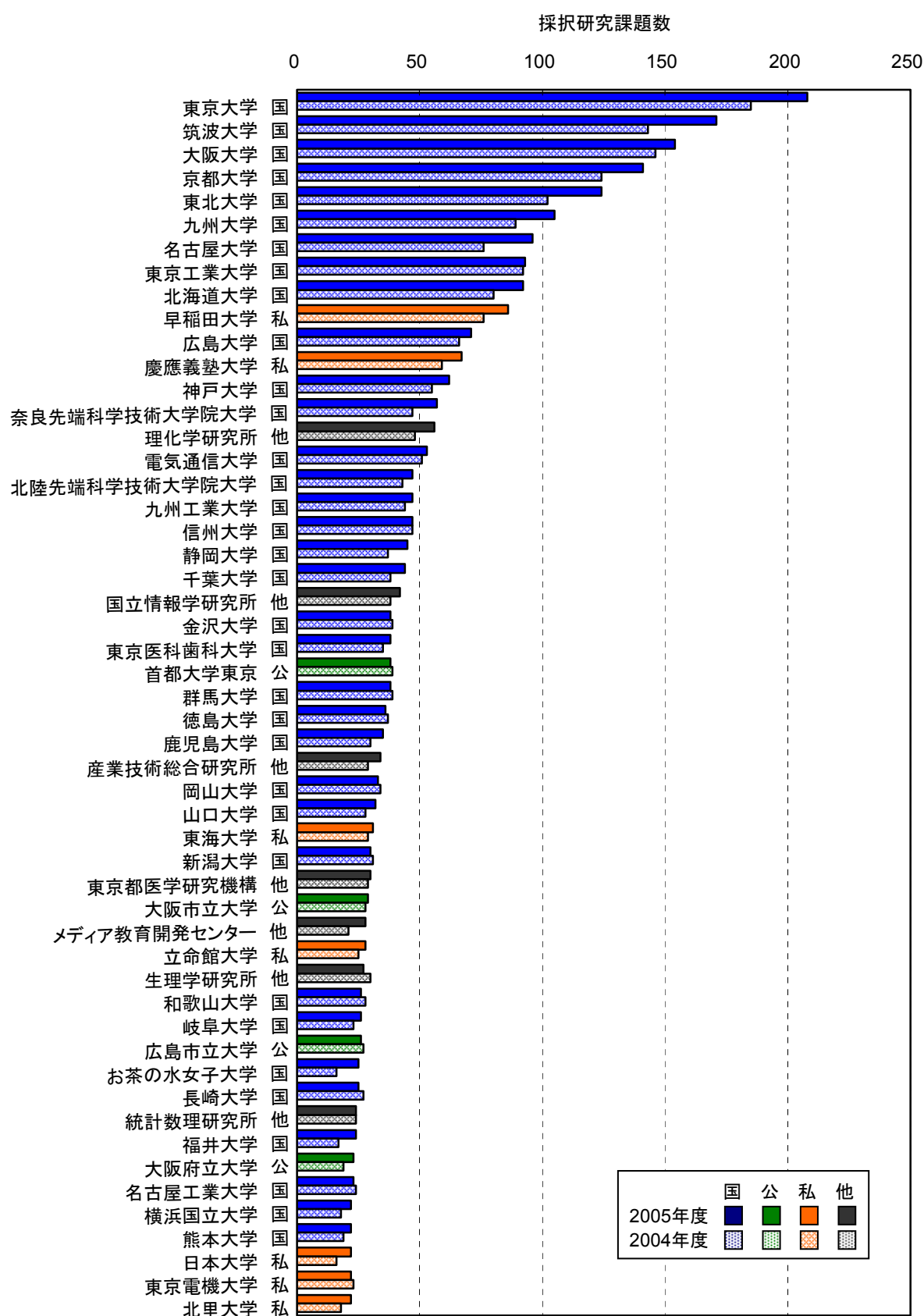


図 2 - 3 総合領域 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

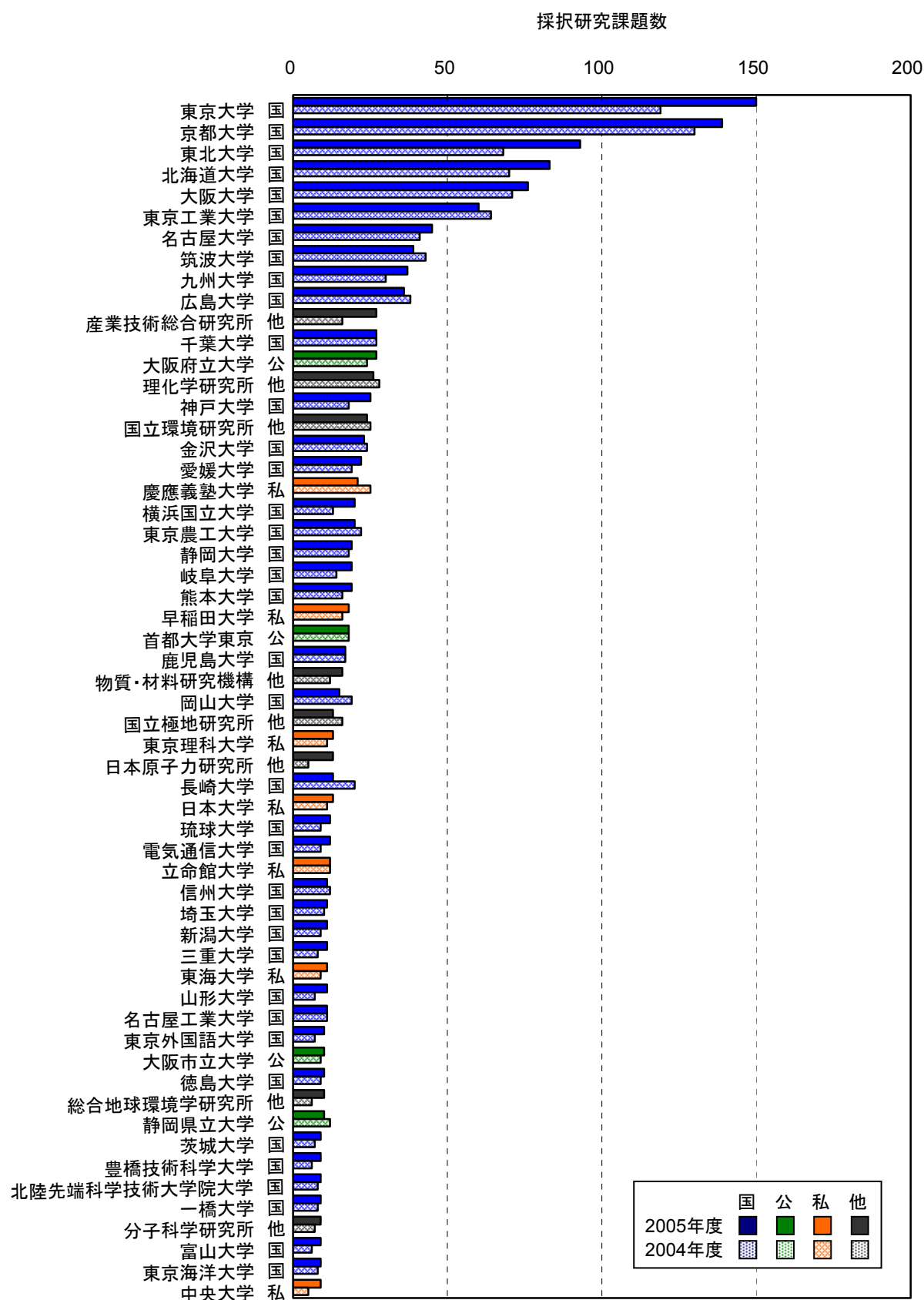


図 2 - 4 複合新領域 採択研究課題数上位 50 位 (2005 年度)

2 分野別

2-1 総合領域

分野：総合領域の中の情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の「分科」ごとの採択研究課題数を図2-5の円グラフに示す。

図2-5から明らかなように、分科：実験動物学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学は、採択研究課題数が少なく、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

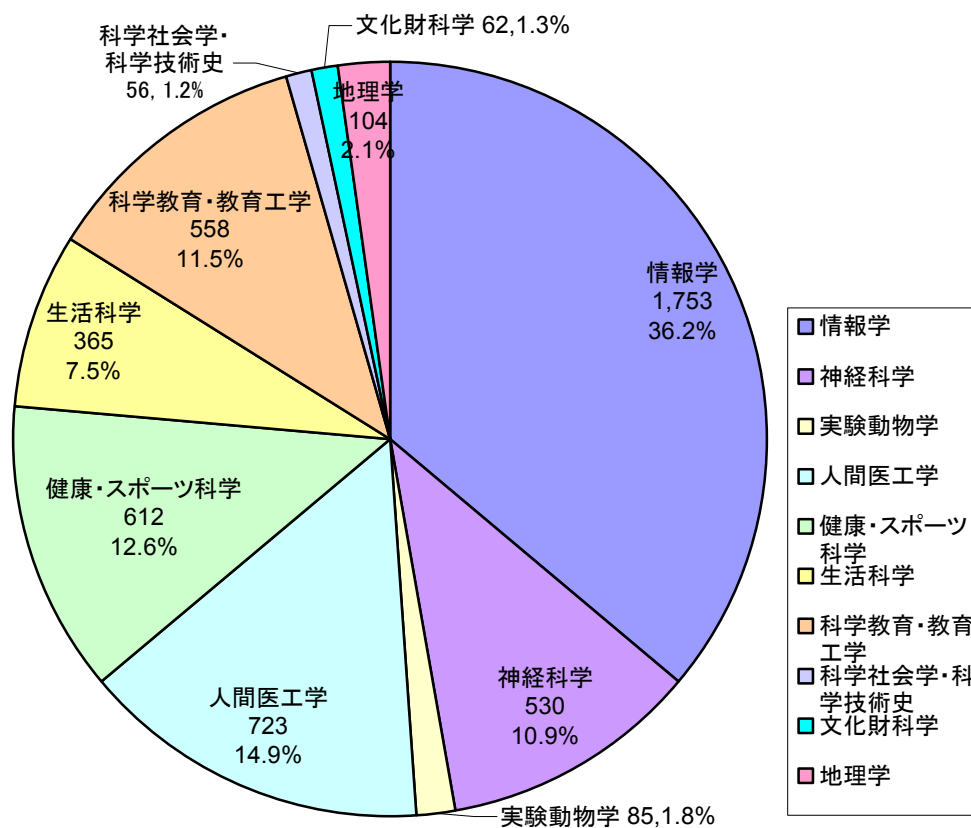


図2-5 2005年度の総合領域「分科」別採択研究課題数

2004年度と比較すると、分野：総合領域全体の採択研究課題数は約10%増えているが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。採択研究課題数が少ない分科では、分科：地理学が採択研究課題数を減らし、分科：実験動物学、科学社会学・科学技術史、文化財科学がそれぞれ2.4%、7.7%、1.6%の伸びに留まっている。これに対して、もっとも採択研究課題数が増えたのは分科：健康・スポーツ科学であり、約17%伸びている。比較的規模の大きい分科：情報学、人間医工学では、

採択研究課題数の前年度比伸び率が、共に約 12%と比較的大きいこともわかる。

以下、情報学、神経科学、実験動物学、人間医工学、健康・スポーツ科学、生活科学、科学教育・教育工学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学の各「分科」について、上位 30 位までを表にまとめ、表 2-3～2-7 に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図 2-6～2-10 に示す。分科：実験動物学、生活科学、科学社会学・科学技術史、文化財科学、地理学は採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

分科：情報学では、東京大学が採択研究課題数を伸ばし 1 位となっている。そのほか、北海道大学、名古屋大学、静岡大学、大阪府立大学、会津大学が採択研究課題数を前年度比 30%以上伸ばしている。

採択研究課題数が前年度比で約 4%しか伸びなかった分科：神経科学では、中位以降の採択研究課題数が少ないため順位の変動が激しいが、名古屋大学が採択研究課題数を伸ばし 13 位となっている。

分科：人間医工学では、九州大学が採択研究課題数を倍増させ、6 位となっている。また、神戸大学、山形大学、藤田保健衛生大学も、採択研究課題数を倍以上に増やしている。

分科：健康・スポーツ科学でも、前年度比約 17%と伸びが比較的大きい。鹿屋体育大学、国立スポーツ科学センターなどが採択研究課題数を伸ばしているが、1 位の筑波大学とは大きな差がある状況に変化はない。

分科：生活科学では、前年度 5 位に後退したお茶の水女子大学が 2 位に返り咲いている。また、分科：科学教育・教育工学では、前年度 7 位に後退した筑波技術短期大学が 3 位となっている。このように、採択研究課題数が 30 件未満では、年度により順位変動が大きいことがわかる。

表 2-3 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (1)

金額単位/千円

情報学						神経科学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	東京大学	100	453,500	75	1	他	理化学研究所	32	71,400	32
2	国	大阪大学	89	261,900	76	2	国	東京大学	31	146,400	28
3	国	筑波大学	74	188,700	63	3	他	東京都医学研究機構	24	61,900	24
4	国	京都大学	73	231,400	64	4	他	生理学研究所	23	71,200	27
5	国	東京工業大学	63	181,100	60	4	国	京都大学	23	62,300	19
6	国	九州大学	57	123,100	56	6	国	大阪大学	21	66,400	25
7	国	東北大学	53	90,300	41	7	私	慶應義塾大学	19	52,000	14
8	国	北海道大学	44	131,800	32	8	国	群馬大学	17	54,400	17
8	国	名古屋大学	44	95,300	31	9	国	東京医科歯科大学	16	53,600	18
10	他	国立情報学研究所	42	155,700	38	10	国	金沢大学	14	73,400	15
10	国	奈良先端科学技術大学院大学	42	84,000	36	10	国	九州大学	14	51,900	11
12	国	電気通信大学	41	56,900	39	12	国	新潟大学	11	50,600	14
13	国	北陸先端科学技術大学院大学	40	97,800	37	13	国	名古屋大学	10	27,500	4
14	私	早稲田大学	36	90,200	30	13	国	筑波大学	10	23,000	7
15	国	九州工業大学	35	61,900	34	15	国	神戸大学	8	55,000	11
16	私	慶應義塾大学	23	80,000	21	15	国	北海道大学	8	35,100	5
16	他	統計数理研究所	23	58,700	23	15	国	東北大学	8	33,000	11
18	国	静岡大学	22	61,300	16	15	私	順天堂大学	8	19,800	7
18	公	広島市立大学	22	28,300	22	19	国	奈良先端科学技術大学院大学	7	50,800	4
20	私	立命館大学	21	54,400	17	19	国	富山医科薬科大学	7	9,200	11
20	国	和歌山大学	21	43,700	23	21	国	熊本大学	6	28,500	4
22	他	産業技術総合研究所	19	59,300	16	21	公	京都府立医科大学	6	21,400	5
22	国	神戸大学	19	24,800	18	21	公	大阪市立大学	6	19,900	3
24	国	広島大学	17	32,100	18	21	公	福島県立医科大学	6	9,800	6
25	国	豊橋技術科学大学	16	37,100	14	25	公	名古屋市立大学	5	18,900	4
26	私	東京電機大学	15	26,200	15	25	他	国立精神・神経センター	5	15,100	4
26	国	千葉大学	15	23,200	13	25	私	東京慈恵会医科大学	5	11,600	4
28	公	大阪府立大学	14	24,800	10	25	国	福井大学	5	8,400	4
28	国	名古屋工業大学	14	23,900	16	25	国	佐賀大学	5	8,300	3
28	国	岡山大学	14	20,600	15	25	公	札幌医科大学	5	6,600	5
28	公	会津大学	14	19,700	10						
28	国	東京農工大学	14	18,900	13						
28	国	群馬大学	14	18,700	15						
合計			1,753	4,130,200	1,562	合計			530	1,587,700	510

表 2-4 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (2)

金額単位/千円

実験動物学						人間医工学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	理化学研究所	8	26,800	4	1	国	東北大学	45	196,300	35
2	他	実験動物中央研究所	5	33,500	5	2	国	東京大学	34	224,300	35
2	国	筑波大学	5	14,500	4	3	国	大阪大学	28	134,000	30
4	国	京都大学	4	16,600	6	4	国	京都大学	20	76,900	15
4	国	熊本大学	4	11,400	5	5	国	北海道大学	19	71,200	26
4	国	東京大学	4	6,100	6	6	国	九州大学	18	85,300	9
4	国	名古屋大学	4	5,000	3	6	国	鹿児島大学	18	61,900	15
8	国	北海道大学	3	9,800	1	8	国	東京医科歯科大学	17	53,600	14
8	他	東京都医学研究機構	3	9,800	2	9	私	東京女子医科大学	16	39,500	15
8	国	長崎大学	3	8,600	3	9	私	慶應義塾大学	16	37,500	16
8	私	東海大学	3	8,400	2	11	国	名古屋大学	14	42,500	12
8	国	浜松医科大学	3	6,600	1	11	私	北里大学	14	16,500	11
8	国	信州大学	3	3,800	2	13	国	広島大学	11	16,500	10
14	私	北里大学	2	2,400	1	14	私	川崎医科大学	10	25,500	10
14	国	佐賀大学	2	2,000	1	15	国	信州大学	9	31,700	11
						15	国	千葉大学	9	24,200	6
						15	国	神戸大学	9	11,900	4
						15	私	東海大学	9	5,600	10
						19	他	産業技術総合研究所	8	30,300	6
						19	他	理化学研究所	8	27,200	6
						19	国	奈良先端科学技術大学院大学	8	20,300	7
						19	私	早稲田大学	8	19,100	5
						19	公	首都大学東京	8	12,600	7
						24	国	東京工業大学	7	38,000	8
						24	国	山形大学	7	24,400	2
						24	私	東京慈恵会医科大学	7	17,400	4
						24	私	藤田保健衛生大学	7	11,100	3
						28	国	金沢大学	6	25,000	6
						28	国	新潟大学	6	19,700	4
						28	私	関西大学	6	19,300	7
						28	国	筑波大学	6	13,100	5
						28	私	福岡大学	6	12,800	5
						28	国	九州工業大学	6	11,600	5
						28	他	国立循環器病センター	6	10,800	7
						28	公	札幌医科大学	6	10,500	6
						28	私	埼玉医科大学	6	9,400	4
						28	国	香川大学	6	7,100	6
						28	私	自治医科大学	6	6,200	8
合計			85	246,800	83	合計			723	2,087,700	647

表 2-5 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度) (3)

金額単位/千円

健康・スポーツ科学						生活科学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	筑波大学	60	184,800	47	1	国	奈良女子大学	14	45,300	18
2	私	早稲田大学	21	62,000	24	2	国	お茶の水女子大学	13	42,200	8
3	国	東京大学	19	81,000	19	3	私	日本女子大学	12	27,100	11
4	国	鹿屋体育大学	14	30,400	8	4	公	大阪市立大学	9	17,500	11
5	国	神戸大学	12	17,500	11	5	私	昭和女子大学	8	13,200	7
6	他	国立スポーツ科学センター	11	31,000	5	6	国	横浜国立大学	6	20,500	5
7	国	名古屋大学	10	24,500	10	6	私	神戸女子大学	6	15,800	3
7	国	広島大学	10	22,700	11	6	私	大妻女子大学	6	8,300	5
9	国	千葉大学	9	13,200	5	9	公	岡山県立大学	5	6,000	7
10	他	国立健康・栄養研究所	8	36,100	6	9	国	奈良教育大学	5	4,100	4
10	国	徳島大学	8	12,300	9	11	私	和洋女子大学	4	10,800	2
12	国	山口大学	7	15,700	5	11	国	神戸大学	4	10,200	3
12	国	東京工業大学	7	14,000	7	11	私	共立女子大学	4	8,900	2
12	国	九州大学	7	11,800	6	11	国	兵庫教育大学	4	7,600	3
15	国	金沢大学	6	20,500	6	11	国	信州大学	4	7,000	3
15	国	大阪大学	6	16,100	6	11	他	県立新潟女子短期大学	4	6,300	3
15	私	福岡大学	6	14,900	8	11	私	武庫川女子大学	4	5,100	3
15	国	北海道大学	6	12,200	4	11	国	滋賀大学	4	4,600	3
15	国	京都大学	6	10,600	7	11	公	山口県立大学	4	4,200	5
15	国	大阪教育大学	6	10,400	3	11	私	岐阜女子大学	4	4,150	3
15	公	首都大学東京	6	9,700	9	11	国	岐阜大学	4	4,000	4
22	国	岐阜大学	5	12,000	2	11	他	武庫川女子大学短期大学部	4	3,200	4
22	他	東京都高齢者研究・福祉振興財団	5	11,000	5	11	国	広島大学	4	2,300	4
22	私	大阪体育大学	5	7,600	5	24	私	文化女子大学	3	13,200	2
22	私	慶應義塾大学	5	7,200	6	24	私	椋山女学園大学	3	10,200	4
22	国	三重大学	5	6,500	7	24	国	東京学芸大学	3	9,700	3
22	公	福岡県立大学	5	6,100	4	24	国	徳島大学	3	5,900	0
22	国	岡山大学	5	6,000	3	24	私	東京農業大学	3	5,200	3
22	国	信州大学	5	5,600	3	24	公	首都大学東京	3	5,100	0
22	国	鳥取大学	5	5,300	3	24	公	滋賀県立大学	3	4,600	4
22	国	電気通信大学	5	4,100	5	24	国	琉球大学	3	4,300	1
						24	私	名古屋文理大学	3	4,200	3
						24	国	富山大学	3	4,100	2
						24	国	埼玉大学	3	2,700	1
						24	私	東京家政学院大学	3	2,500	1
						24	私	くらしき作陽大学	3	2,200	3
						24	私	中村学園大学	3	2,200	9
						24	公	兵庫県立大学	3	2,000	2
						24	私	同志社女子大学	3	1,900	5
合計			612	1,211,555	525	合計			365	634,103	333

表 2-6 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位（2005 年度）（4）

金額単位/千円

科学教育・教育学						科学社会学・科学技術史					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	メディア教育開発センター	24	90,500	19	1	国	東京大学	5	5,500	4
2	国	広島大学	21	38,000	17	2	国	広島大学	3	6,100	2
3	他	筑波技術短期大学	14	27,400	10	2	国	東京工業大学	3	1,900	4
4	国	東京工業大学	13	32,800	13	4	私	立命館大学	2	6,100	2
4	国	静岡大学	13	28,500	12	4	国	北海道大学	2	4,400	3
4	私	早稲田大学	13	24,800	12	4	私	日本大学	2	2,500	1
7	他	国立教育政策研究所	11	45,700	14	4	私	明治大学	2	2,200	1
8	国	東京学芸大学	9	21,800	9	4	私	東京理科大学	2	1,500	2
9	国	神戸大学	8	32,500	6	4	国	京都大学	2	1,400	3
9	国	東京大学	8	24,600	7						
9	国	岐阜大学	8	14,100	8						
9	国	徳島大学	8	13,200	6						
9	国	信州大学	8	10,500	10						
9	国	上越教育大学	8	9,900	10						
9	国	愛知教育大学	8	8,200	9						
9	国	福井大学	8	7,700	5						
17	国	名古屋大学	7	21,400	8						
17	国	大阪大学	7	21,400	6						
17	国	筑波大学	7	16,500	8						
17	国	鳴門教育大学	7	12,100	5						
21	国	京都大学	6	14,500	4						
21	国	北海道教育大学	6	13,500	4						
21	他	国立科学博物館	6	13,400	6						
21	国	埼玉大学	6	9,500	6						
25	国	北海道大学	5	20,900	5						
25	国	茨城大学	5	15,400	4						
25	国	九州工業大学	5	11,200	3						
25	国	富山大学	5	11,000	6						
25	私	金沢工業大学	5	8,100	7						
25	国	長崎大学	5	6,400	5						
25	国	愛媛大学	5	4,700	5						
合計			558	1,094,000	512	合計			56	95,900	52

表 2－7 総合領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位（2005 年度）（5）

金額単位/千円

文化財科学						地理学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	他	東京文化財研究所	6	21,600	6	1	公	首都大学東京	9	32,400	11
2	国	東京芸術大学	4	13,700	1	2	国	東京大学	6	34,300	10
3	国	東北大学	3	21,000	2	2	国	筑波大学	6	25,000	8
3	他	元興寺文化財研究所	3	10,800	5	4	私	日本大学	5	6,700	2
3	他	奈良文化財研究所	3	4,200	4	5	国	京都大学	4	26,900	3
6	私	早稲田大学	2	14,000	2	5	国	東北大学	4	11,400	3
6	国	富山大学	2	12,600	2	5	国	千葉大学	4	7,600	3
6	他	国立歴史民俗博物館	2	5,800	2	5	国	名古屋大学	4	7,300	6
6	他	高岡短期大学	2	4,400	1	9	国	広島大学	3	19,200	3
6	国	宮崎大学	2	3,600	1	9	国	北海道大学	3	10,600	1
6	国	名古屋大学	2	1,700	2	9	国	金沢大学	3	5,900	2
6	私	東北芸術工科大学	2	900	1	9	国	九州大学	3	4,000	1
						13	私	立正大学	2	9,100	1
						13	国	岡山大学	2	5,200	2
						13	私	慶應義塾大学	2	3,900	2
						13	私	立命館大学	2	3,300	2
						13	国	信州大学	2	2,100	1
						13	他	兵庫県立人と自然の博物館	2	1,800	1
						13	私	専修大学	2	1,500	1
合計			62	179,700	61	合計			104	264,200	108

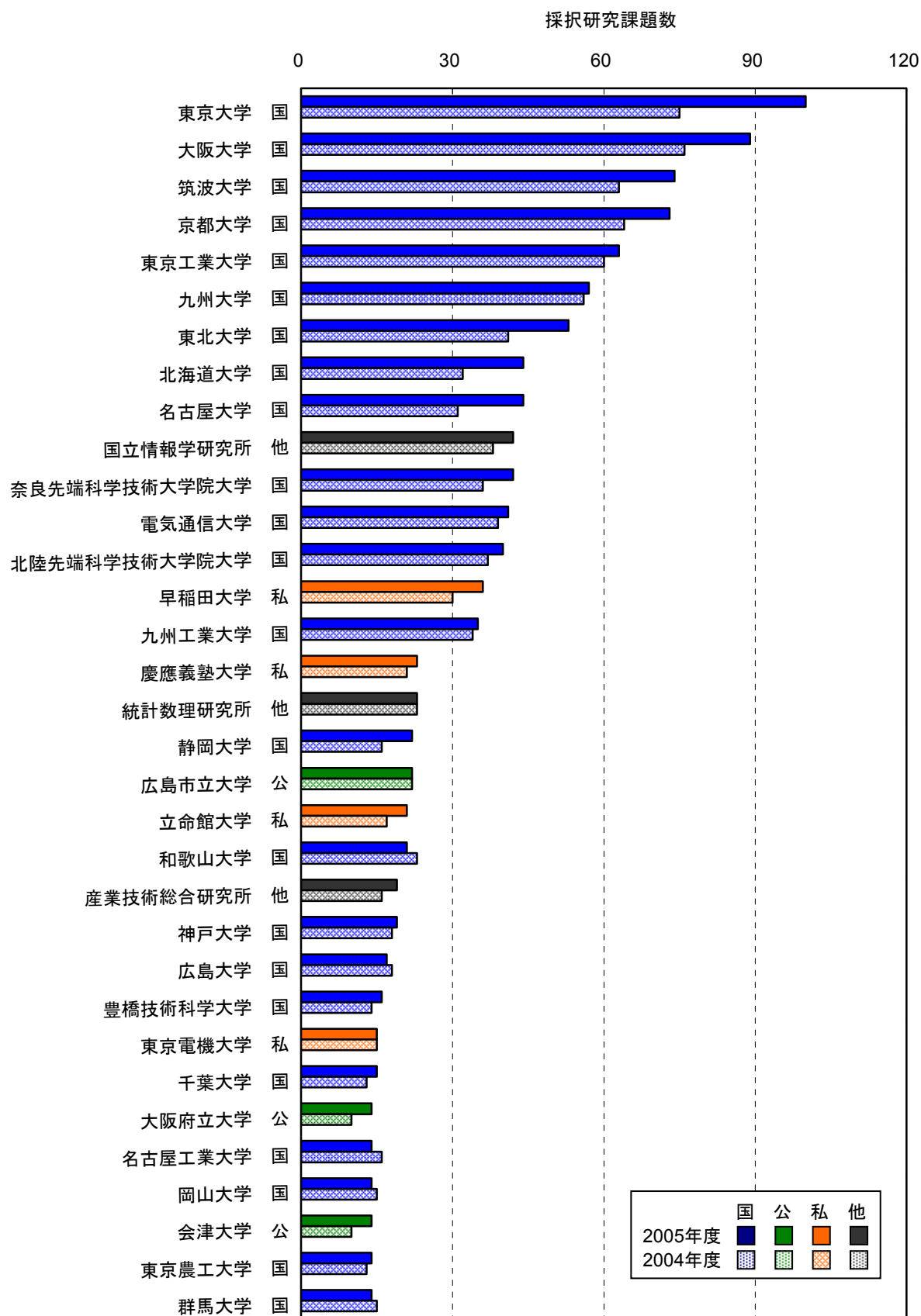


図 2 - 6 情報学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

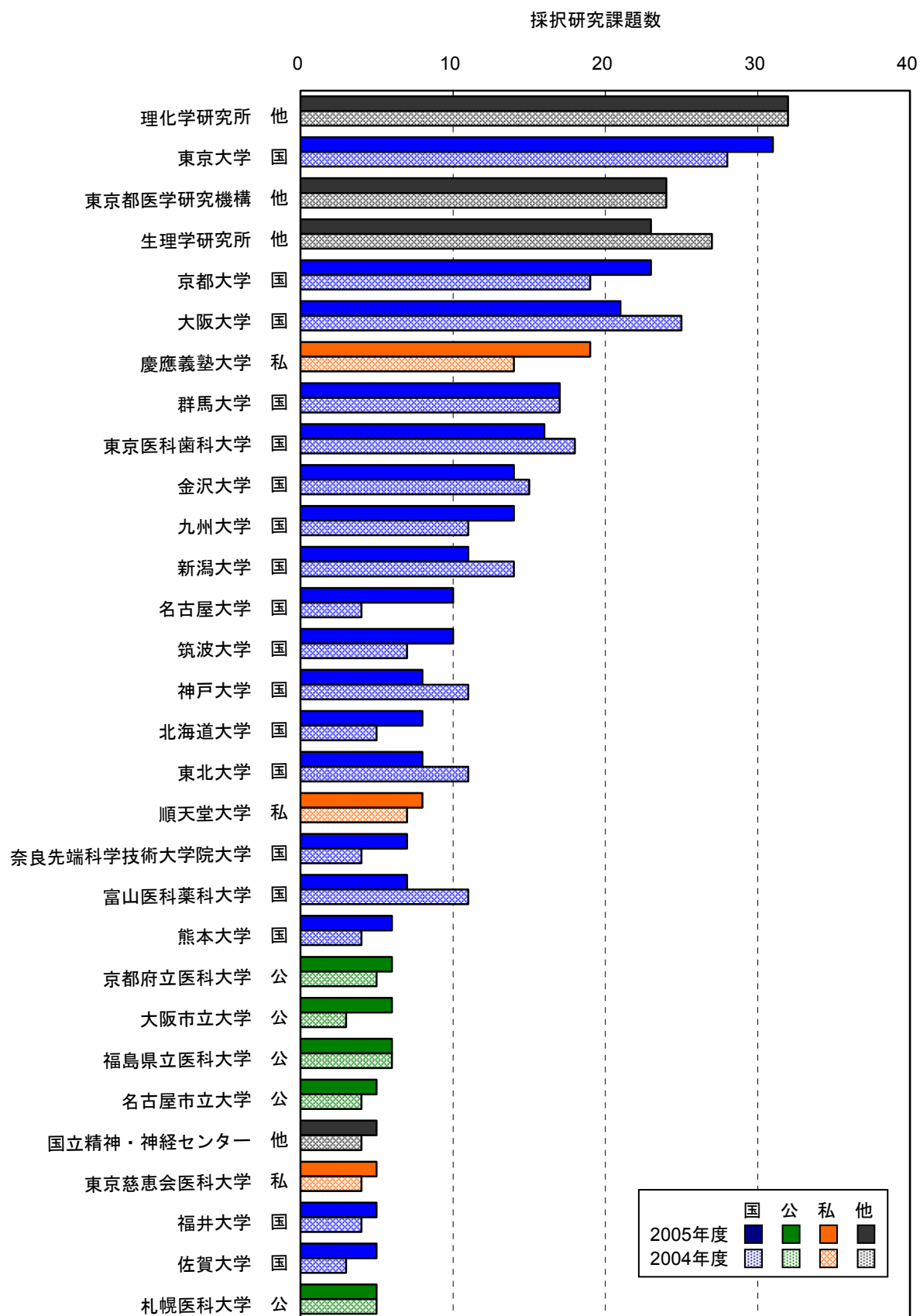


図 2 - 7 神経科学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

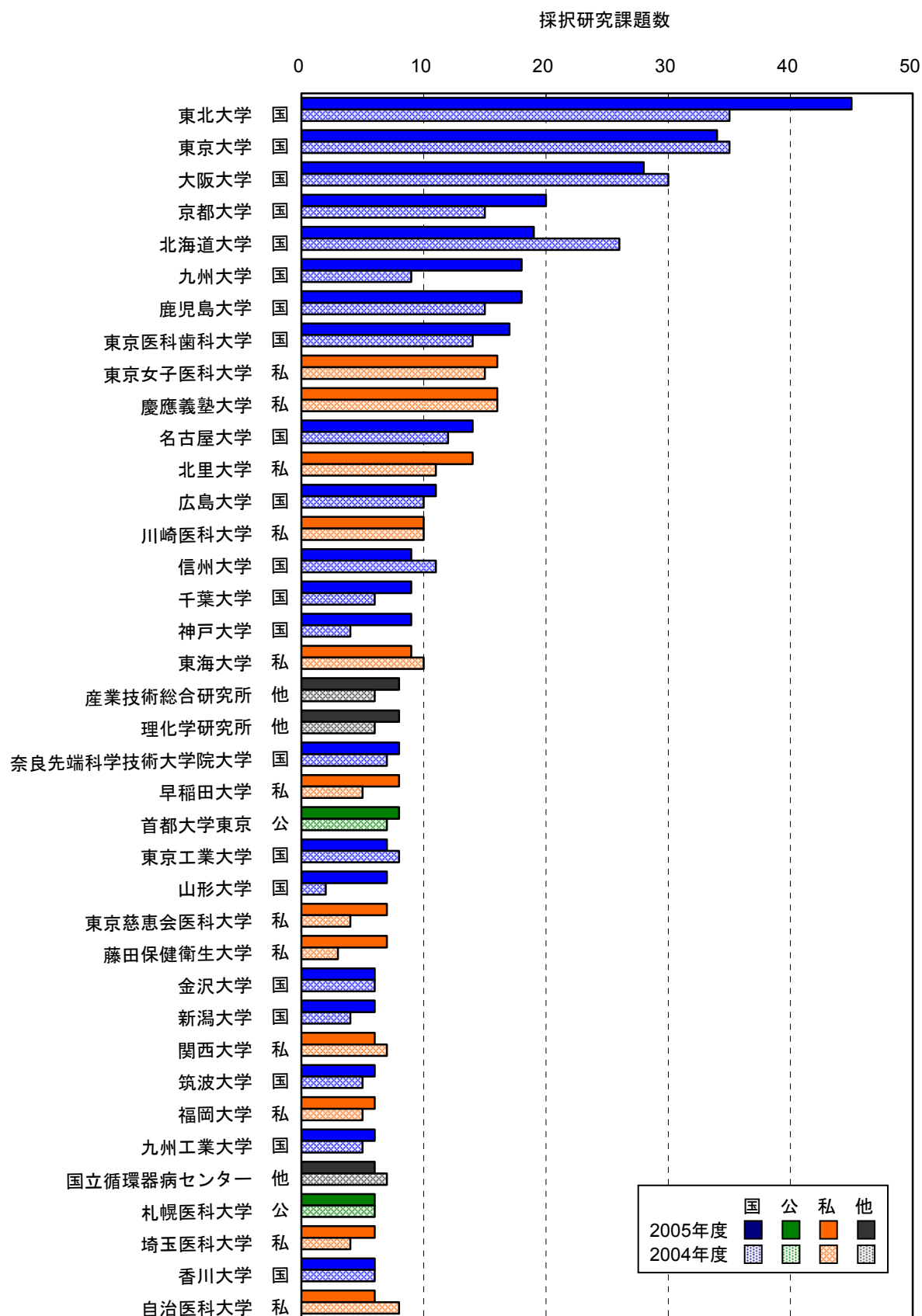


図 2 - 8 人間医工学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

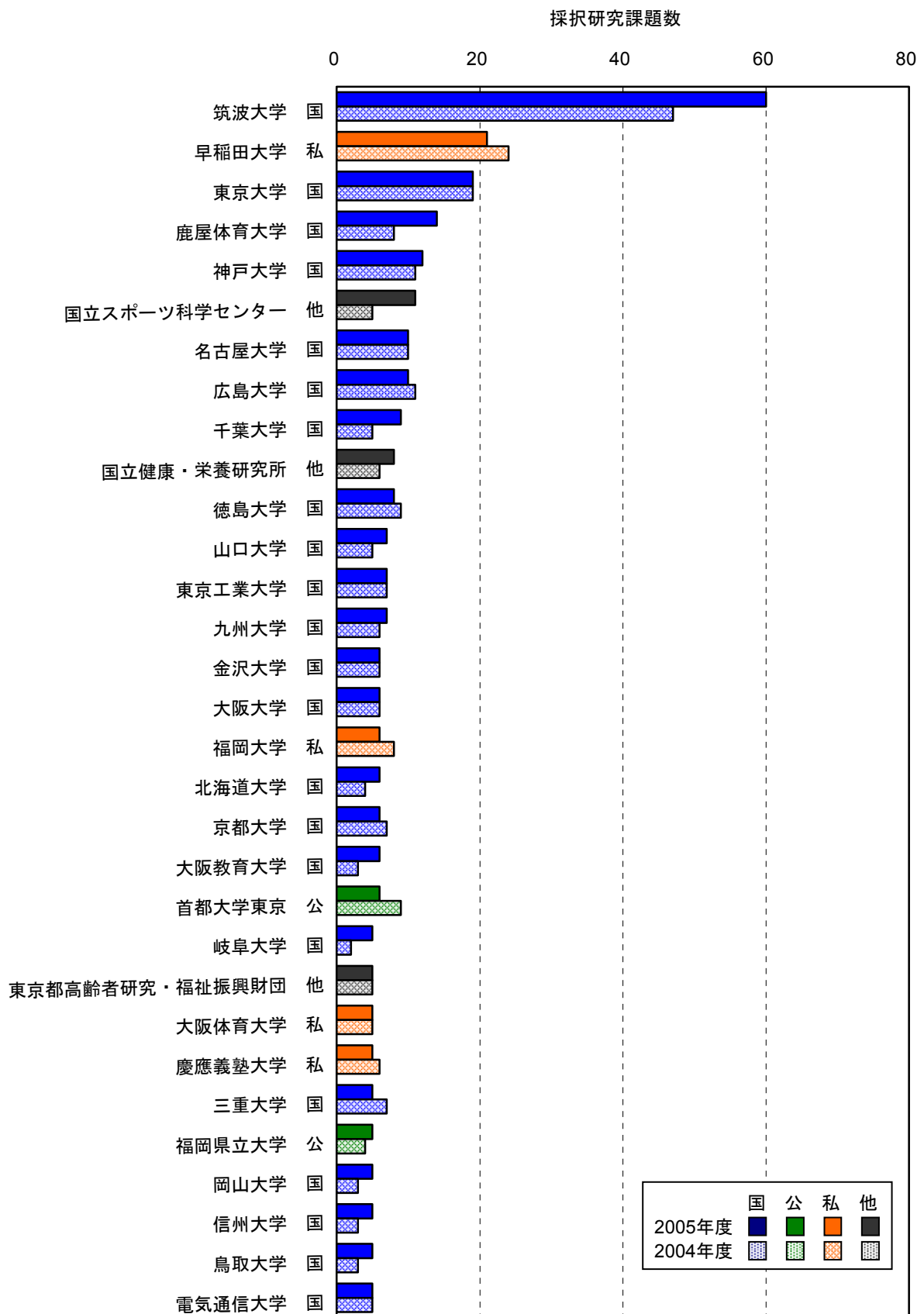


図 2 - 9 健康・スポーツ科学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

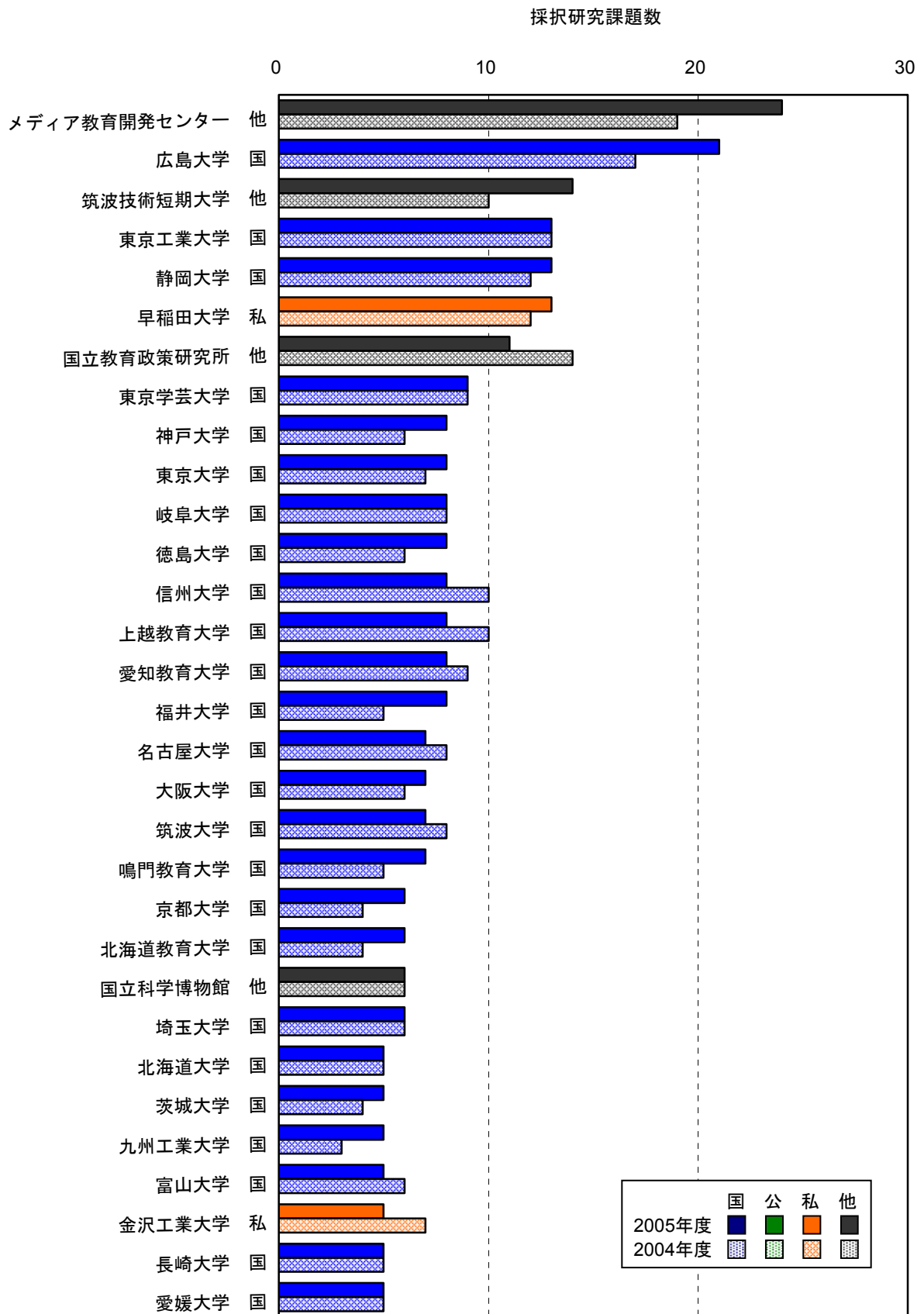


図 2 - 1 0 科学教育・教育工学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

2-2 複合新領域

分野：複合新領域の中の環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの「分科」ごとの採択研究課題数を図2-11の円グラフに示す。

分野：総合領域と同様に、採択研究課題数が100件程度から100件以下の分科：ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーは、他の「分科」の「細目」に相当する採択研究課題数の規模となっている。このため、単年度のみでの採択研究課題数を用いた大学間の研究活性度の比較を行う場合は、統計的な意味が他の分科と異なる点に多少注意する必要がある。

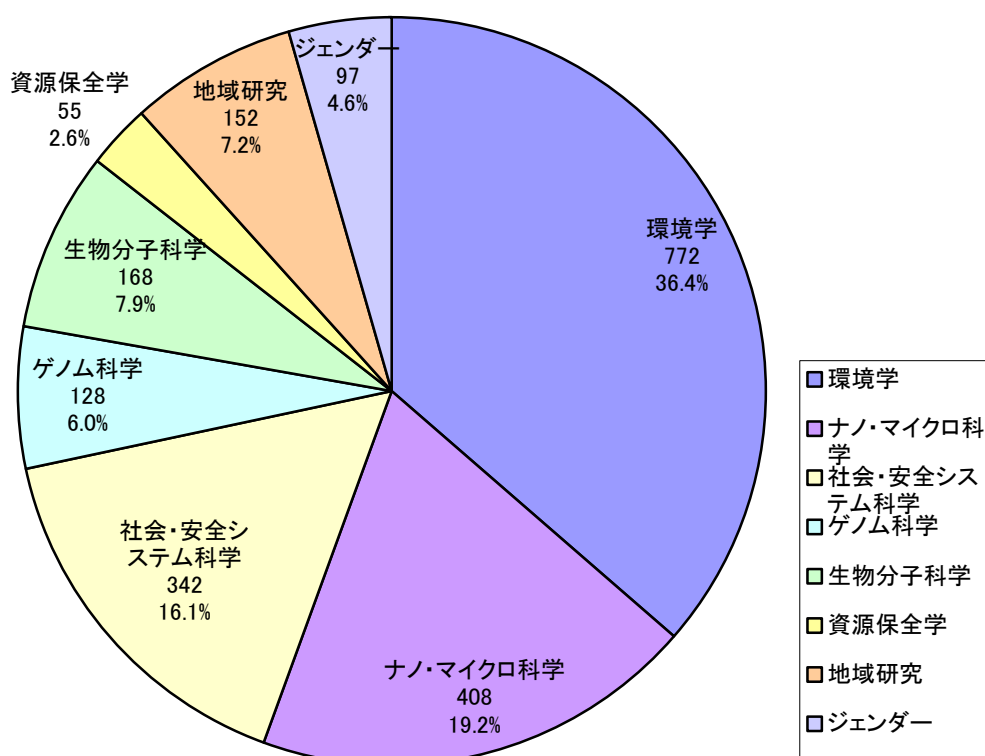


図2-11 2005年度の複合新領域「分科」別採択研究課題数

2004年度と比較すると、分野：複合新領域全体の採択研究課題数は約13%増えているが、「分科」により採択研究課題数の増分には差があることがわかる。2004年度と比較すると、採択研究課題数の前年比伸び率がもっとも大きいのは分科：地域研究であり、前年度比約37%も伸びている。これに対して、分科：ジェンダーでは採択研究課題数は約4%しか伸びていない。分野：総合領域では、採択研究課題数の小さな「分科」については前年度比の伸び率が小さい傾向があったが、分野：複合新領域では、そのような傾向は明瞭ではない。比較的規模の大きい分科：社会・安全システム科学の前年度比の伸びが約6%に留まっているのに対して、比較的規模の小さい分科：ゲノム科学の前年度比の伸びが約32%になっている。

以下、環境学、ナノ・マイクロ科学、社会・安全システム科学、ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーの各「分科」について、上位 30 位までを表にまとめ、表 2-8～2-11 に示す。表に対応した各「分科」の機関別の棒グラフを図 2-12～2-14 に示す。分科：ゲノム科学、生物分子科学、資源保全学、地域研究、ジェンダーは採択研究課題数が少ないので、棒グラフでは省略することとする。

まず、分科：環境学では、京都大学が採択研究課題数を減らし、東京大学と順位が逆転している。

分科：ナノ・マイクロ科学では、東京大学が採択研究課題数を増やして前年度の同率 3 位から 2 位になっている。2004 年度と比較して上位の顔ぶれに大きな変動はないが、物質・材料研究機構や産業技術総合研究所などの研究機関が上位に進出している。

分科：社会・安全システム科学では、大きな順位の変動はない。また、分科：ゲノム科学では、分科全体の採択研究課題数が大幅に増している。

分科：生物分子科学では、岐阜大学が 3 倍に採択研究課題数を増やし、日本原子力研究所、大阪府立大学、三重大学が初めて研究課題を採択されている。

分科：資源保全学、地域研究、ジェンダーでは、2004 年度と比較しても、1～2 件しか採択研究課題数が変わらないため、大きな変化はない。ただし、分科：地域研究では、京都大学が採択研究課題数を大幅に伸ばし、2 位以下との差をさらに広げているのがわかる。

金額単位/千円

32

表2-9 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位30位(2005年度)(2)

金額単位/千円

社会・安全システム科学						ゲノム科学					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	31	80,000	31	1	国	東京大学	18	87,900	12
2	国	東京工業大学	24	88,800	22	2	他	理化学研究所	7	20,900	9
3	国	東京大学	21	121,500	23	3	国	奈良先端科学技術大学院大学	6	47,900	6
4	国	北海道大学	11	23,400	9	3	国	大阪大学	6	32,900	5
4	国	筑波大学	11	13,300	16	3	国	京都大学	6	26,400	7
6	国	東北大学	9	29,900	5	6	他	かずさディーエヌエー研究所	5	14,600	1
7	国	大阪大学	8	21,200	8	6	私	北里大学	5	7,400	3
8	国	九州大学	7	21,900	4	8	国	東京工業大学	4	12,800	2
8	国	広島大学	7	7,800	8	9	私	慶應義塾大学	3	42,100	1
10	公	首都大学東京	6	18,600	6	9	他	国立遺伝学研究所	3	16,300	3
10	国	電気通信大学	6	14,200	4	9	私	東海大学	3	7,400	3
10	国	横浜国立大学	6	10,800	5	9	他	農業生物資源研究所	3	3,400	1
13	私	南山大学	5	26,400	5	9	国	北海道大学	3	3,000	1
13	国	千葉大学	5	21,600	6	14	国	徳島大学	2	12,100	1
13	国	名古屋大学	5	14,100	1	14	国	筑波大学	2	11,700	3
13	私	早稲田大学	5	10,400	7	14	他	産業技術総合研究所	2	11,000	1
13	私	東京理科大学	5	8,000	5	14	私	東京理科大学	2	9,300	0
18	国	岡山大学	4	36,000	6	14	国	宮崎大学	2	9,200	2
18	国	神戸大学	4	11,400	5	14	国	東京農工大学	2	4,800	1
18	国	政策研究大学院大学	4	9,400	5	14	国	熊本大学	2	4,500	2
18	他	防災科学技術研究所	4	9,300	3	14	私	藤田保健衛生大学	2	3,300	1
18	国	鳥取大学	4	4,400	4	14	国	金沢大学	2	3,100	1
18	公	大阪府立大学	4	3,700	4	14	国	東京医科歯科大学	2	2,700	1
24	国	山口大学	3	18,200	3						
24	私	東海大学	3	8,700	1						
24	私	青山学院大学	3	7,000	2						
24	国	新潟大学	3	4,600	2						
24	公	兵庫県立大学	3	4,000	2						
24	他	人と防災未来センター	3	3,100	2						
24	公	岩手県立大学	3	2,900	4						
24	私	近畿大学	3	2,800	4						
合計			342	863,800	324	合計			128	478,700	97

金額単位/千円

34

表 2－1 1 複合新領域「分科」別採択研究課題数上位 30 位（2005 年度）（4）

金額単位/千円

地域研究						ジェンダー					
順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数	順位	種別	機関名	2005年度		2004 件数
			件数	金額					件数	金額	
1	国	京都大学	23	137,900	17	1	国	お茶の水女子大学	4	18,800	2
2	国	東京外国語大学	9	29,600	7	1	国	一橋大学	4	9,700	5
3	国	東京大学	8	46,000	7	3	国	名古屋大学	3	11,000	2
4	国	北海道大学	7	22,500	5	3	私	立命館大学	3	2,400	3
5	他	国立民族学博物館	6	19,700	3	5	国	東京大学	2	34,100	2
5	国	神戸大学	6	14,800	3	5	公	大阪府立大学	2	2,900	2
7	国	東北大学	5	12,200	5	5	国	名古屋工業大学	2	2,500	1
8	国	一橋大学	4	14,700	3	5	国	東京学芸大学	2	2,300	3
8	国	広島大学	4	11,000	2	5	国	静岡大学	2	2,100	2
8	私	上智大学	4	6,700	2	5	国	山形大学	2	2,000	2
11	国	九州大学	3	9,800	2	5	私	城西国際大学	2	2,000	2
11	私	早稲田大学	3	9,000	2	5	国	琉球大学	2	1,800	0
11	国	大阪大学	3	8,600	2	5	私	名古屋経済大学	2	1,800	2
11	私	大東文化大学	3	7,700	2	5	国	東北大学	2	1,500	1
11	私	慶應義塾大学	3	6,600	2	5	国	愛媛大学	2	1,500	2
11	公	広島市立大学	3	5,000	3	5	私	日本大学	2	1,300	1
11	私	同志社大学	3	4,600	3	5	国	神戸大学	2	1,200	2
18	私	立命館大学	2	6,300	2						
18	国	琉球大学	2	5,300	1						
18	公	島根県立大学	2	5,200	1						
18	公	横浜市立大学	2	2,500	1						
18	国	鹿児島大学	2	2,400	1						
18	私	九州国際大学	2	2,100	2						
18	私	東洋大学	2	1,600	2						
合計			152	496,500	111	合計			97	188,900	93

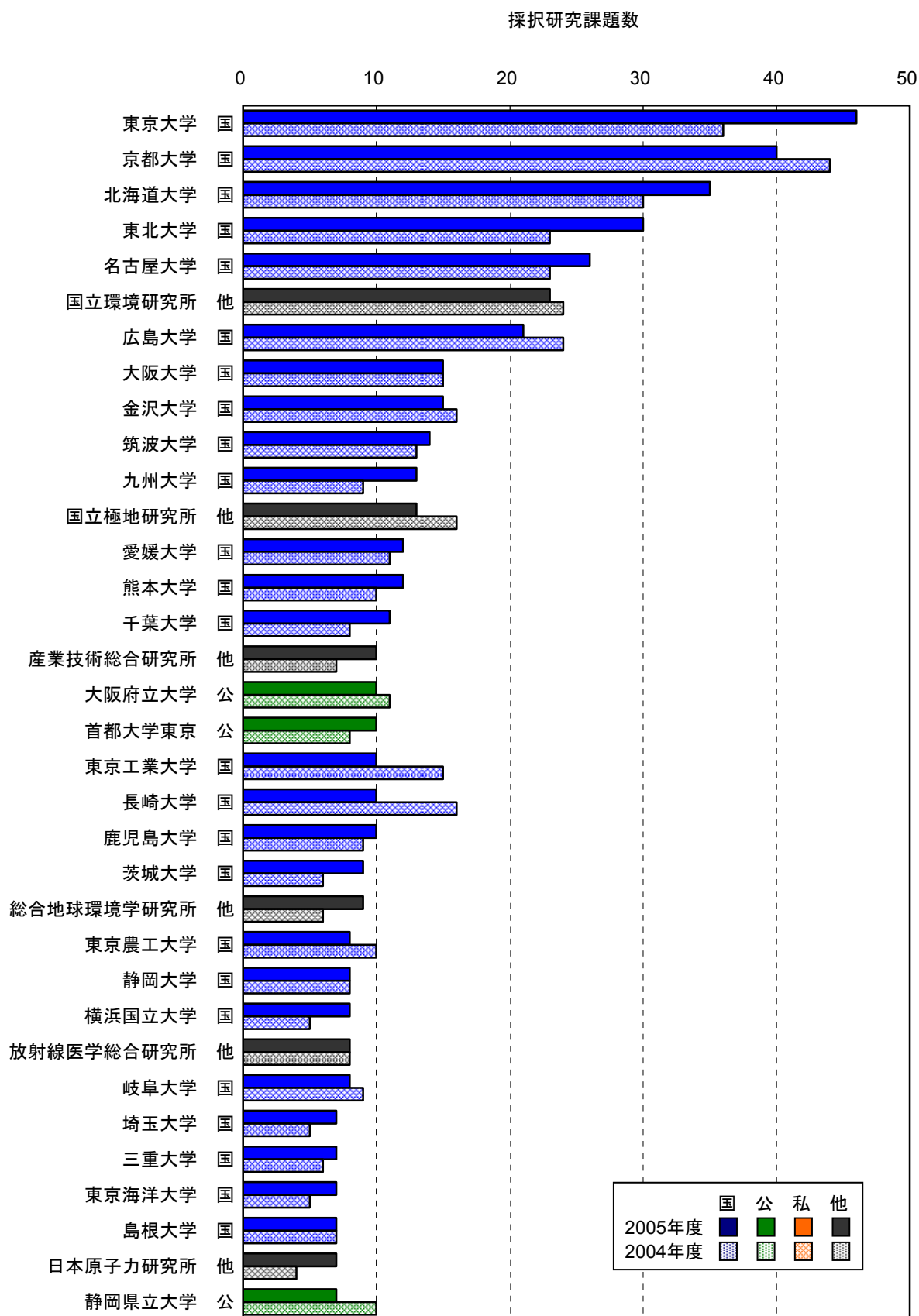


図 2 - 1 2 環境学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

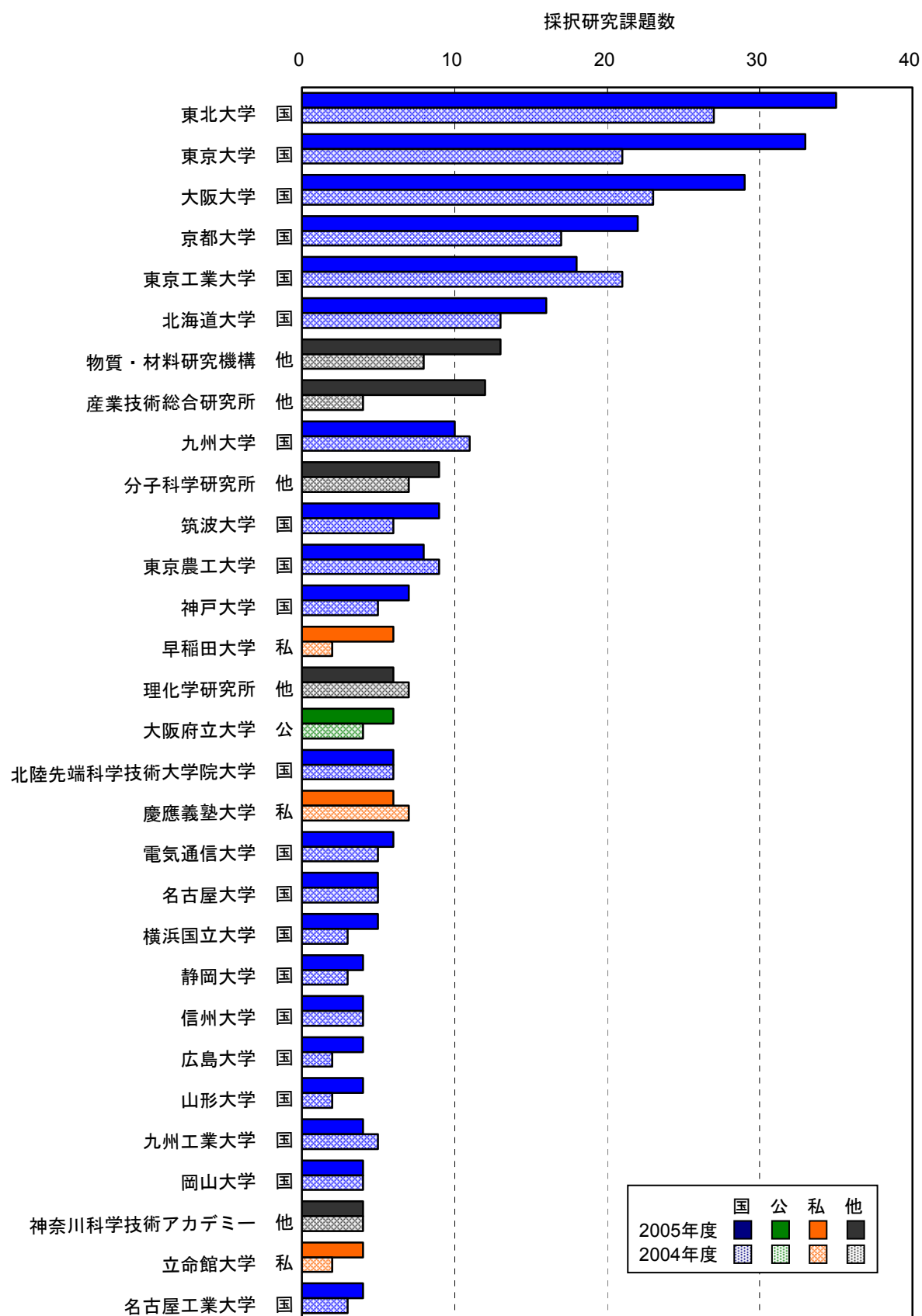


図 2-13 ナノ・マイクロ科学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 年度)

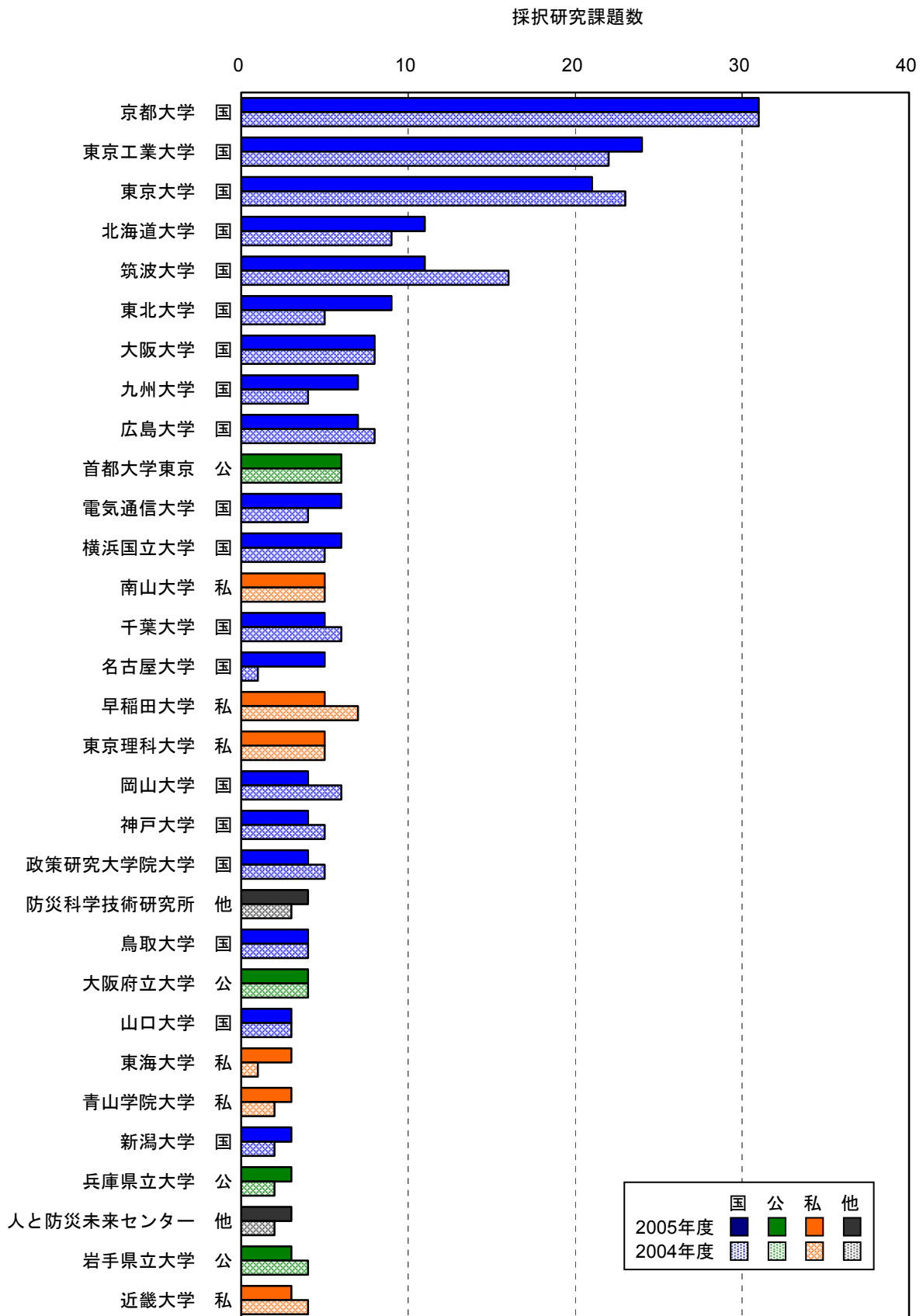


図 2 - 1 4 社会・安全システム科学 採択研究課題数上位 30 位 (2005 度)

Ⅲ. 大型研究費編

1. 概要

本章では、「細目表」の改訂に本質的な影響を受けない大型研究費（特別推進研究、特定領域研究、特別研究促進費、学術創成研究費）について、解析を行う。I 章でも述べたように、このような調査研究には連続性が必要であることを考慮し、大型研究費についても、2004 年度について行った調査研究と同じスタンスに立ってデータの整理を行う。本章で取り扱う大型研究費は大別すると、大型プロジェクト研究、および、一件あたりの研究費の配分金額が大きな重点的研究がある。

大型プロジェクト研究は、現在、特定領域研究のみとなっている。

特定領域研究：

21 世紀の我が国の学術研究分野の水準向上・強化につながる研究領域、地球規模での取り組みが必要な研究領域、社会的要請の特に強い研究領域を特定し機動的かつ効果的に研究の推進を図るもの。期間：3～6 年。単年度あたりの配分額の目安：1 領域 2 千万円～6 億円程度。

本研究種目は、重点領域研究という名称の研究種目から 1998 年度に名称が変更されたものである。

一方、個人研究を基本とする配分金額の大きな重点的研究として、次の 3 研究種目があるが、実質的には、特別推進研究と学術創成研究費の 2 種類である。

特別推進研究：

国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究。期間：3～5 年。申請総額：5 億円程度を目安（制限は設けない）。

本研究種目には、2001 年度まで新規研究課題が採択されていた中核的研究拠点（COE）形成基礎研究費という研究種目の継続研究課題が吸収されている。

学術創成研究費：

科学研究費補助金等による研究のうち優れた内容をもつ研究分野に着目し、当該分野の研究を推進する上で特に重要な研究課題を選定し、創造性豊かな学術研究の一層の推進を図るもの。期間：5 年。推薦制。

創成的基礎研究費という研究種目が、2001 年度から学術創成研究費へと改称されている。

特別研究促進費：

緊急かつ重要な研究課題の研究助成。

本研究種目は 2001 年度から発足しているが、2004 年度より新規研究課題は採択されていない。

表 1－1 や図 1－2 に既に示したように、2003、2004 年度に比べて、大型研究費の予算に占める割合は、34.9%から 34.7%に微減しており、少しずつ減少している傾向がみてとれる。

2. 大型研究費の特徴

2005年度の大型研究費全体の採択研究課題数、配分額を表3-1に示す。このうち、研究種目別の配分額の割合を図3-1の円グラフに示す。特別研究促進費は事実上継続研究課題のみであるため、特定領域研究、特別推進研究、学術創成研究費の3種目に整理されている。

大型研究費の配分額の内訳を見ると、特定領域研究が2003年度の68.3%から70.0%に、特別推進研究が19.1%から13.5%に、学術創成研究費が12.5%から16.5%に変化している。特別推進研究が大きく減少しているが、これはCOE形成基礎研究費の継続研究課題が順次終了していったことに大きく依存している。それに応ずるように、学術創成研究費が伸びているといえる。

表1-1に示した予算額と表3-1に示した配分額を比べると、金額が大きく異なっていることが目に付く。これは、表3-1の配分額が研究者への直接経費であり、表1-1の予算額が3割の間接経費も含めた額であるためであるので、注意されたい。間接経費を含めても個々の研究種目の配分額は予算額と差があるが、大型研究費の総額についてはほぼ等しくなっている。大型研究費の枠内では、研究状況や申請状況に応じて、柔軟に予算配分しているものと推測される。

表3-1 大型研究費の研究種目別 採択研究課題数

金額単位/千円

研究種目		2003年度		2004年度		2005年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
特定領域研究		3,506	33,203,400	3,537	33,937,900	3,943	33,469,900
特別推進研究	合 計	86	9,273,000	80	7,702,500	84	6,445,600
	旧来からの 特別推進研究	62	4,578,000	67	5,147,500	78	5,505,600
	COE形成基礎 研究費からの変更	24	4,695,000	13	2,555,000	6	940,000
学術創成研究費		71	6,078,600	89	6,888,500	107	7,871,000
特別研究促進費		14	68,800	11	73,900	6	36,600

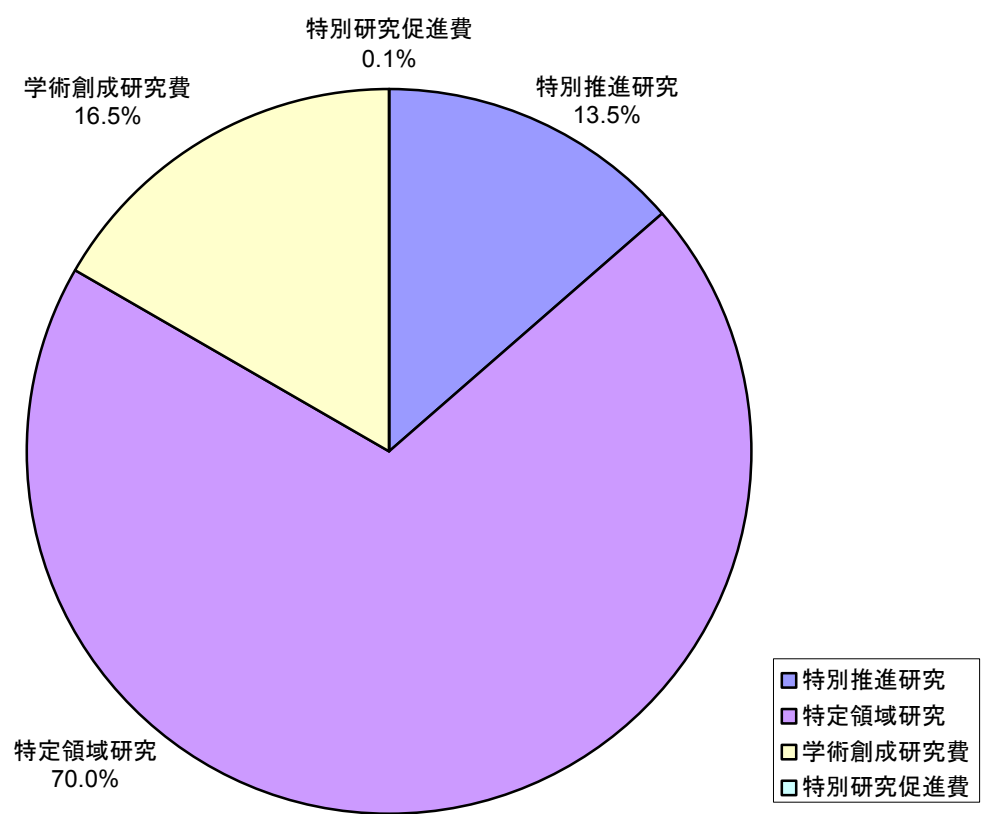


図 3 - 1 2005 年度の大型研究費の研究種目別配分額の割合

3. 研究種目別

3-1 特定領域研究

特定領域研究は、近年、制度が数度にわたり細かく変更されている。1998 年度から、重点領域研究から特定領域研究へと種目名称が変更され、研究期間の間に計画研究以外に公募研究を募集する特定領域研究(A)と計画研究のみの特定領域研究(B)とに分離した。さらに、2000 年度には、特定の目的に対応するために特定領域研究(C)が創設されている。特定領域研究(C)は、当初ミレニアムプロジェクトとして癌撲滅を目的とした研究を中心に開始されたが、その後、特定領域の中へ取り込まれた。2002 年度から特定領域研究(A)、(B)、(C)の区分がなくなり、特定領域研究と称されるようになった。このような制度変更が数多くなされているが、特定領域研究の新たな領域の発足時期よりも公募研究を募集する公募要領の作成時期が早いために、公募要領のみからは全ての領域を把握することは難しい。

図 3-2 に、特定領域研究の領域数の年度推移を示す。2002 年以降、年々、領域数は減少している。

特定領域研究の各領域は複数の研究課題に分割されており、それらの研究課題ごとに採択が決定される。採択研究課題数を機関別に整理したものの上位 50 位を表 3-2、棒グラフを図 3-3 にそれぞれ示す。2004 年度と比較すると、機関別の採択研究課題数の順位はほとんど変化がなく、上位機関の採択研究課題数が増加していることがわかる。

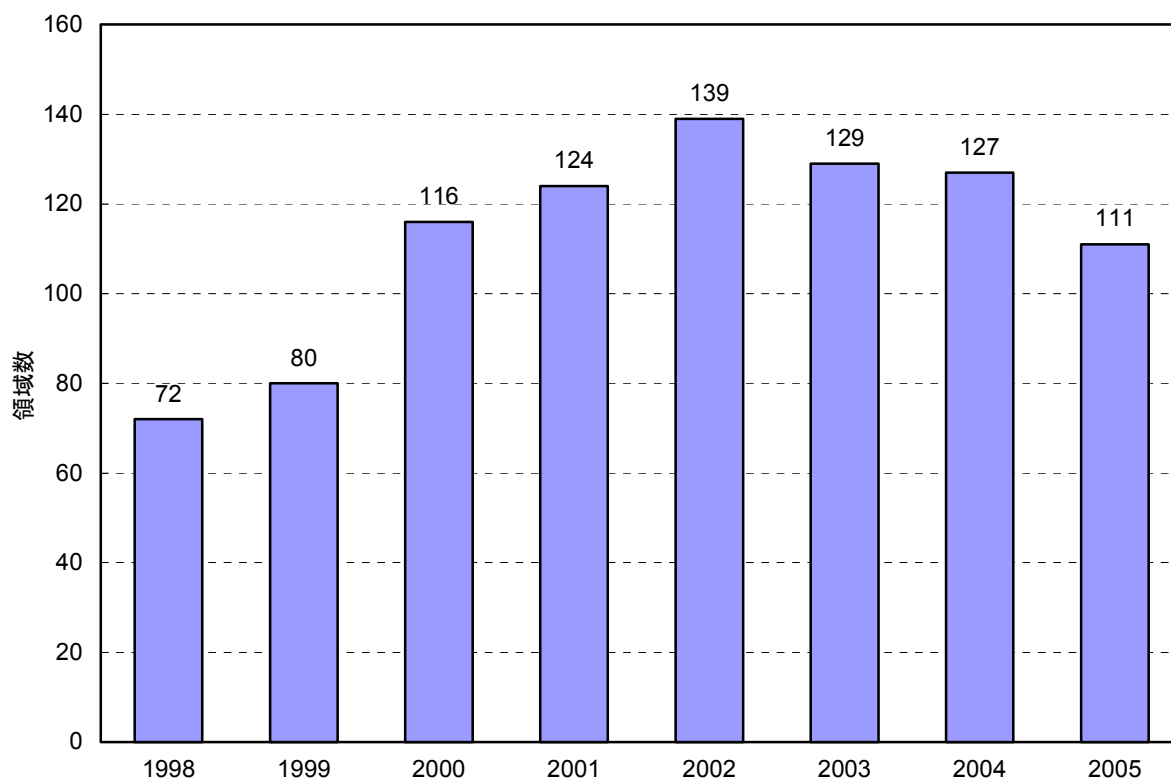


図 3-2 特定領域研究の領域数の年度推移

表 3－2 特定領域研究 採択研究課題数上位 50 位（2005 年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	472	5,929,800	437
2	国	京都大学	326	3,134,700	284
3	国	大阪大学	268	2,385,300	234
4	国	東北大学	197	1,765,800	182
5	国	名古屋大学	153	1,470,500	117
6	国	九州大学	140	1,160,900	114
7	国	北海道大学	117	776,100	92
8	国	東京工業大学	116	1,050,500	83
9	他	理化学研究所	111	794,200	86
10	国	筑波大学	79	508,200	69
11	国	広島大学	63	376,400	55
12	国	熊本大学	58	448,500	42
13	国	神戸大学	56	419,800	66
14	国	千葉大学	53	441,700	42
15	国	東京医科歯科大学	51	417,400	52
16	私	慶應義塾大学	48	405,600	52
17	他	国立遺伝学研究所	46	663,700	35
18	国	金沢大学	40	301,800	43
19	国	奈良先端科学技術大学院大学	38	263,900	41
20	公	首都大学東京	36	344,100	30
21	他	東京都医学研究機構	35	199,200	26
22	公	大阪市立大学	34	382,700	35
23	国	岡山大学	33	243,900	34
23	他	産業技術総合研究所	33	218,500	16
23	他	生理学研究所	33	153,200	25
26	国	徳島大学	32	272,900	26
27	国	群馬大学	29	178,500	30
27	国	長崎大学	29	171,300	27
29	国	新潟大学	27	145,500	23
30	私	早稲田大学	26	146,500	14
31	他	基礎生物学研究所	24	345,300	23
31	私	東京理科大学	24	94,900	18
33	公	横浜市立大学	23	239,500	22
34	公	大阪府立大学	22	144,800	20
35	他	分子科学研究所	21	86,200	14
36	公	名古屋市立大学	20	144,900	17
36	国	横浜国立大学	20	138,300	16
38	私	順天堂大学	18	142,200	16
39	公	兵庫県立大学	17	98,900	10
39	国	山形大学	17	79,200	13
39	国	九州工業大学	17	67,700	15
42	他	高エネルギー加速器研究機構	16	134,900	18
42	国	岐阜大学	16	85,800	17
44	他	国立情報学研究所	15	250,700	13
44	国	東京農工大学	15	196,700	9
44	国	愛媛大学	15	118,600	18
44	他	物質・材料研究機構	15	114,800	8
44	国	山口大学	15	65,300	14
49	他	国立がんセンター	14	132,300	18
49	国	静岡大学	14	38,000	15
合計			3,943	33,469,900	3,537

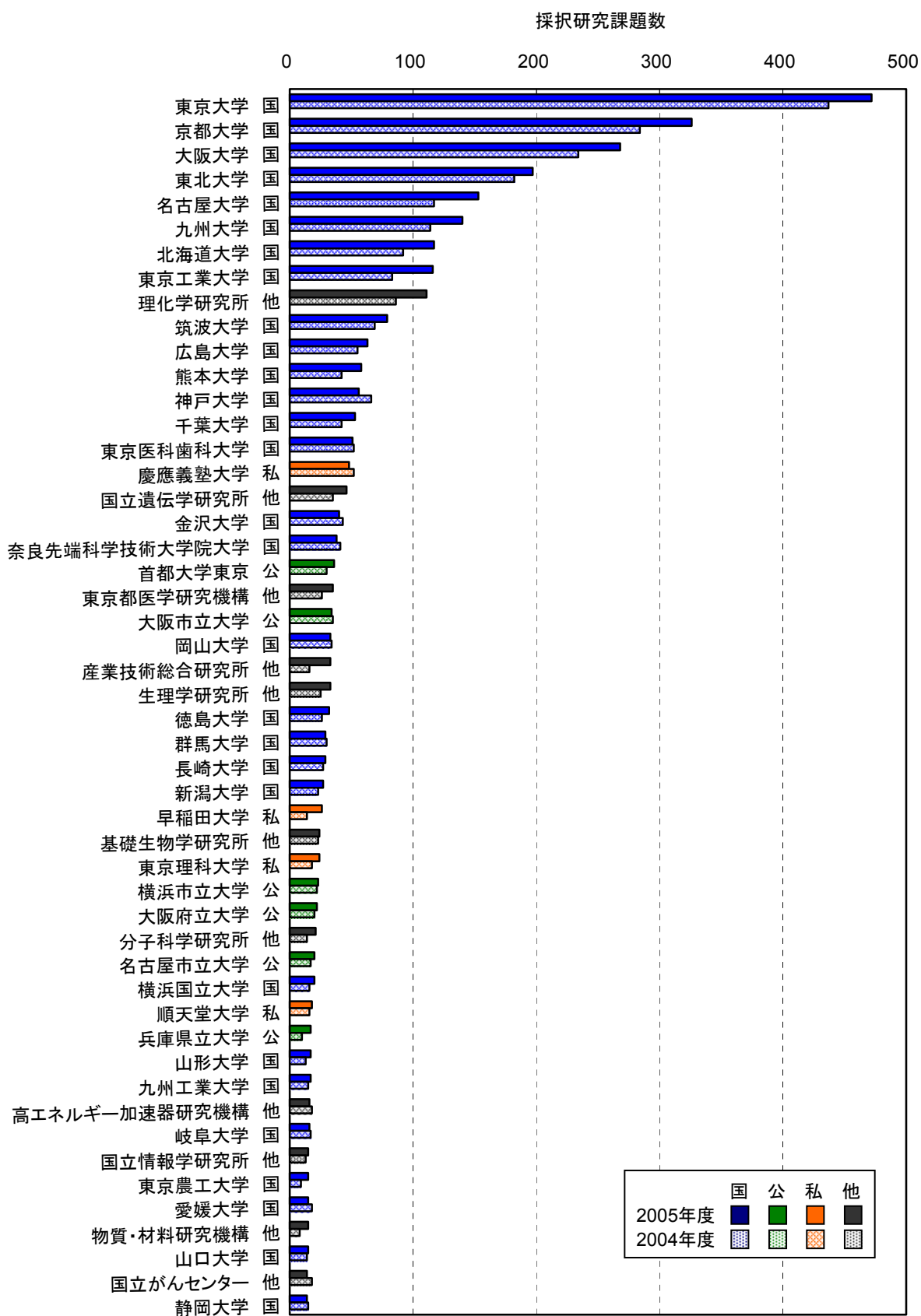


図3-3 特定領域研究 採択研究課題数上位50位(2005年度)

3-2 特別推進研究

特別推進研究の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-3に示す。このうち6件はCOE形成基礎研究費の継続分である。2004年度と比較して、採択研究課題数が少ないため、大きな順位の変動はないが、3位の京都大学、2位の東北大学の順位が逆転している。

表3-3 特別推進研究 採択研究課題数（2005年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	17	1,100,300	19
2	国	東北大学	9	909,300	7
3	国	京都大学	8	1,008,200	8
4	国	名古屋大学	6	350,300	6
5	国	九州大学	3	242,600	4
5	他	高エネルギー加速器研究機構	3	229,200	2
5	国	大阪大学	3	226,900	3
5	他	理化学研究所	3	184,000	3
9	他	東京都医学研究機構	2	186,400	1
9	国	北海道大学	2	165,700	1
9	私	早稲田大学	3	249,200	2
9	他	岡崎共通研究施設	2	148,700	3
9	国	筑波大学	2	147,900	1
9	国	九州工業大学	2	125,000	1
15	他	生理学研究所	1	113,700	1
15	国	神戸大学	1	86,000	1
15	国	東京工業大学	1	82,800	1
15	国	東京外国語大学	1	80,000	1
15	他	基礎生物学研究所	1	80,000	1
15	他	日本原子力研究所	1	77,000	1
15	私	慶應義塾大学	1	70,400	1
15	他	国立遺伝学研究所	1	69,100	0
15	国	東京農工大学	1	69,000	1
15	他	国立天文台	1	66,000	1
15	私	東京理科大学	1	61,000	1
15	他	宇宙航空研究開発機構	1	60,000	1
15	私	明治学院大学	1	55,000	1
15	国	金沢大学	1	52,600	0
15	国	豊橋技術科学大学	1	35,000	1
15	他	大阪バイオサイエンス研究所	1	34,300	1
15	国	広島大学	1	30,000	1
15	他	分子科学研究所	1	30,000	1
15	私	京都薬科大学	1	20,000	1
合計			84	6,445,600	80

3-3 学術創成研究費

学術創成研究費の採択研究課題数を機関別に整理したものを表3-4に示す。2004年度と比較すると、特別推進研究とほぼ同じ変化が見てとれる。

表3-4 学術創成研究費 採択研究課題数（2005年度）

金額単位/千円

順位	種別	機関名	2005年度		2004年度 件数
			件数	金額	
1	国	東京大学	22	1,480,100	20
2	国	京都大学	15	1,245,500	11
3	国	名古屋大学	9	570,400	9
4	国	大阪大学	8	639,400	8
4	国	東北大学	8	572,500	5
6	国	東京工業大学	7	512,300	6
7	私	慶應義塾大学	5	360,200	3
8	他	理化学研究所	4	352,300	1
8	他	高エネルギー加速器研究機構	4	307,400	3
8	国	北海道大学	4	272,000	4
11	国	九州大学	3	163,900	2
12	国	東京医科歯科大学	2	184,900	0
12	国	奈良先端科学技術大学院大学	2	155,700	2
14	国	岐阜大学	1	150,000	1
14	国	神戸大学	1	101,600	0
14	他	国立歴史民俗博物館	1	93,600	1
14	国	愛媛大学	1	74,200	1
14	私	大阪電気通信大学	1	72,000	1
14	他	宇宙航空研究開発機構	1	71,600	1
14	国	秋田大学	1	70,000	1
14	他	岡崎共通研究施設	1	70,000	0
14	公	大阪市立大学	1	65,300	1
14	国	群馬大学	1	60,500	1
14	公	横浜市立大学	1	60,500	1
14	国	新潟大学	1	60,000	1
14	国	筑波大学	1	56,600	1
14	他	国立遺伝学研究所	1	48,500	1
合計			107	7,871,000	89

注 学術創成費の申請時期は他の研究費目と異なるため、2005年4月以前の機関名が用いられることがある。

この一連の、科学研究費補助金の採択研究課題数による大学・大学院の研究活性度の調査研究にあたって、データの整理、編集、図表の作成をお願いした東京大学生産技術研究所の斉藤加余子氏に感謝の意を表する。